

# 横手市水道事業アンケート

## 報告書

令和元年9月

横手市上下水道部

## 目 次

### 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査対象とサンプル数	3
3. 調査の方法	3
4. 調査の期間	3
5. 回収状況	3
6. 集計における注記	3

### 調査結果

1. お客様の属性について	
Q 1. 性別	5
Q 2. 年代	5
Q 3. 住まいの形態	6
Q 4. 居住年数	6
Q 5. 同居のご家族の人数	7
Q 6. 居住地域	7
2. 水のご使用について	
Q 7. 水道水の安全性	8
Q 8. 水道水の不安理由	10
Q 9. 普段飲む水について	11
Q10. 水道水をそのまま飲まない理由	13
Q11. 水道水品質への満足度合い	14
3. 節水について	
Q12. 節水への意識	20
Q13. 節水の取り組み	21
4. 水道料金について	
Q14. 水道料金の水準について	22
Q15. Q14 で回答した選択肢を選んだ理由	24
Q16. 支払方法について	25
Q17. 口座振替を行わない理由	25
Q18. 設備更新	26
5. 水道事業について	
Q19. これから期待すること	27
Q20. もっと知りたい情報	28
6. 災害対策について	
Q21. 災害発生時に一番早く知りたい情報	29
Q22. 災害発生時もっとも初期に使用する情報媒体	30
Q23. 水道事業で力を入れるべき災害対策	32
7. 検針について	
Q24. 隔月検針への移行について	33
Q25. 隔月検針に移行するにあたり問題となること	34
Q26. Q25. で「2.」を選択した方への不安解消に関して	34
Q27. 隔月検針にあわせ2か月分まとめた支払への変更について	35
Q28. 隔月検針に移行する場合の周知方法について	35
8. 水道事業全体への評価について	
Q29. 水道事業全体の満足度	36
※参考資料（アンケート用紙）	39

## 調査の概要

---

# 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

水道に関する様々な事項について、水道利用者の意識・ニーズがどのようなものか、その実態を把握・分析し、今後の事業の効率的な運営に役立てることを目的としている。

## 2. 調査対象とサンプル数

令和元年5月の水道利用者の中から、各地区の給水人口割合に応じて一般世帯における利用者1,000件を抽出。

## 3. 調査の方法

郵送により発送、同封の返信用封筒により回答。

## 4. 調査の期間

令和元年6月28日から令和元年7月11日までのポスト投函をお願いした。  
(令和元年7月末までの到来分を集計した。)

## 5. 回収状況

配布数：1,000件 (H30：1,000件)

回収数：528件 (H30：541件)

回収率：52.8% (H30：54.1%)

## 6. 集計における注記

### 1. 回答比率について

図表中の百分率(%)は、小数第一位を四捨五入し、整数表示としている。そのため、合計が100%にならない場合がある。

### 2. 回答者数について

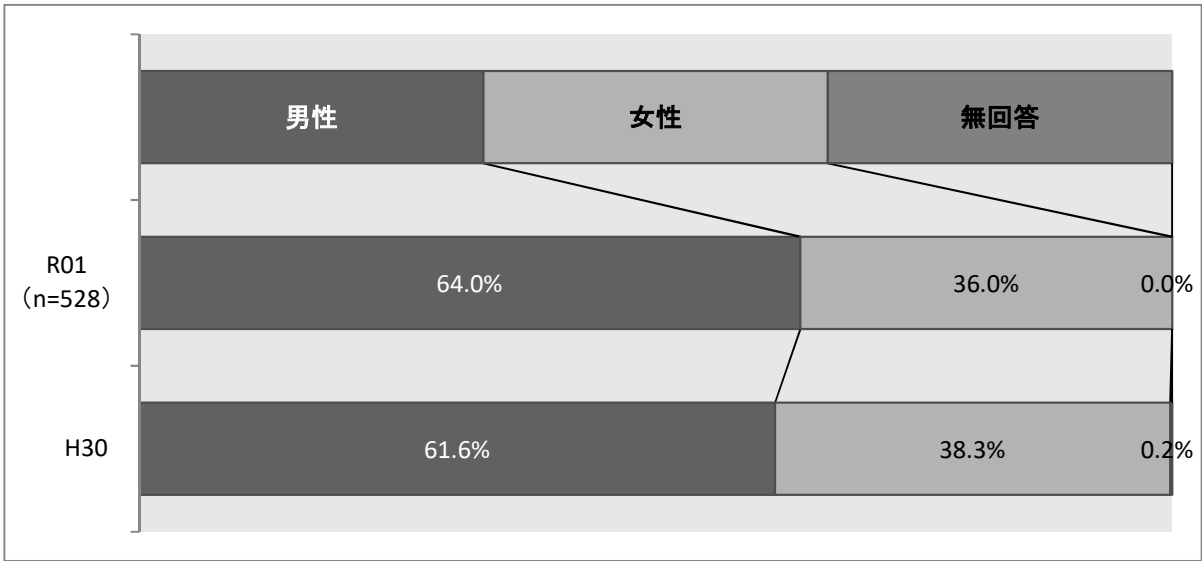
質問に対する回答者数は、「n」と表記しており、回答比率(%)を算出する基礎となる。

## 調査結果

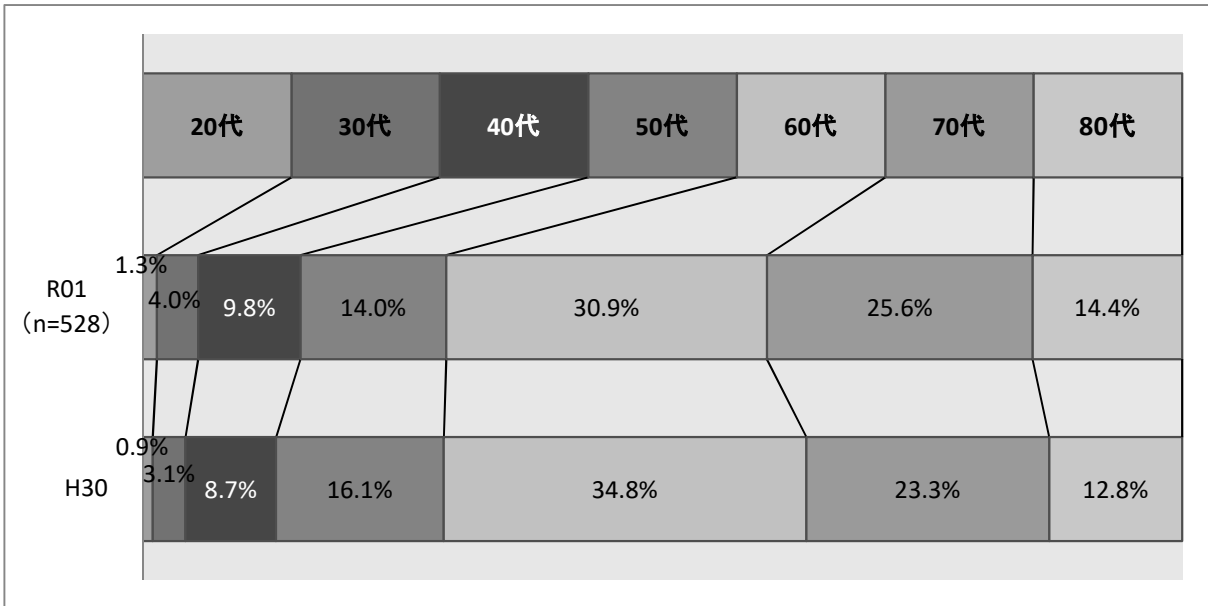
---

# 1. お客様の属性について

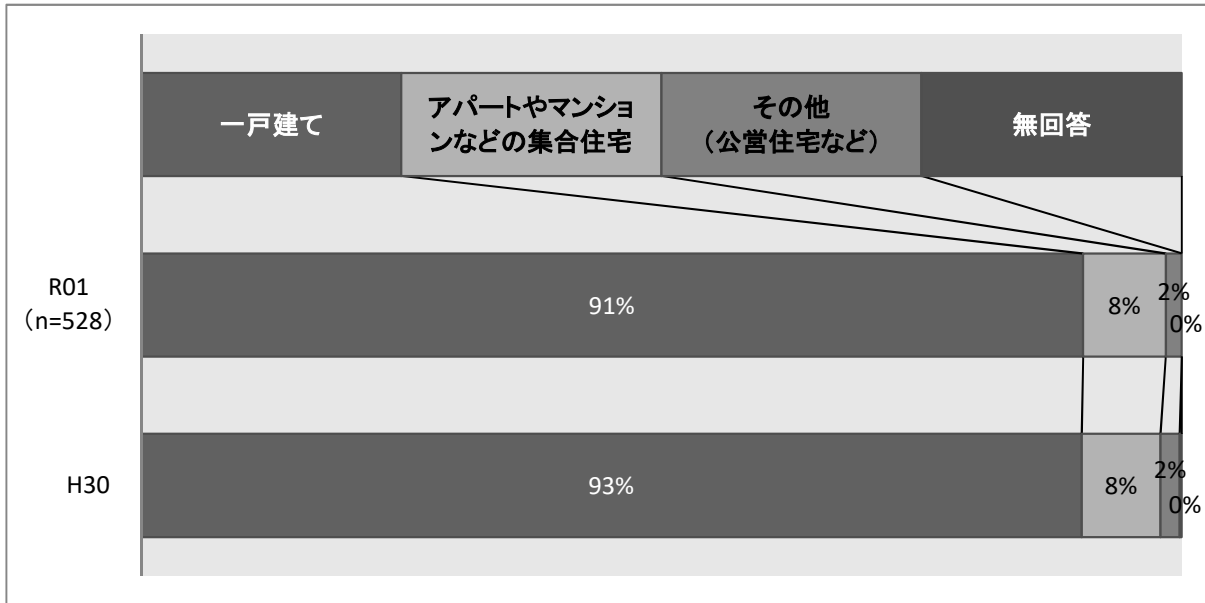
Q1 あなたの性別は？



Q2 あなたの年代は？

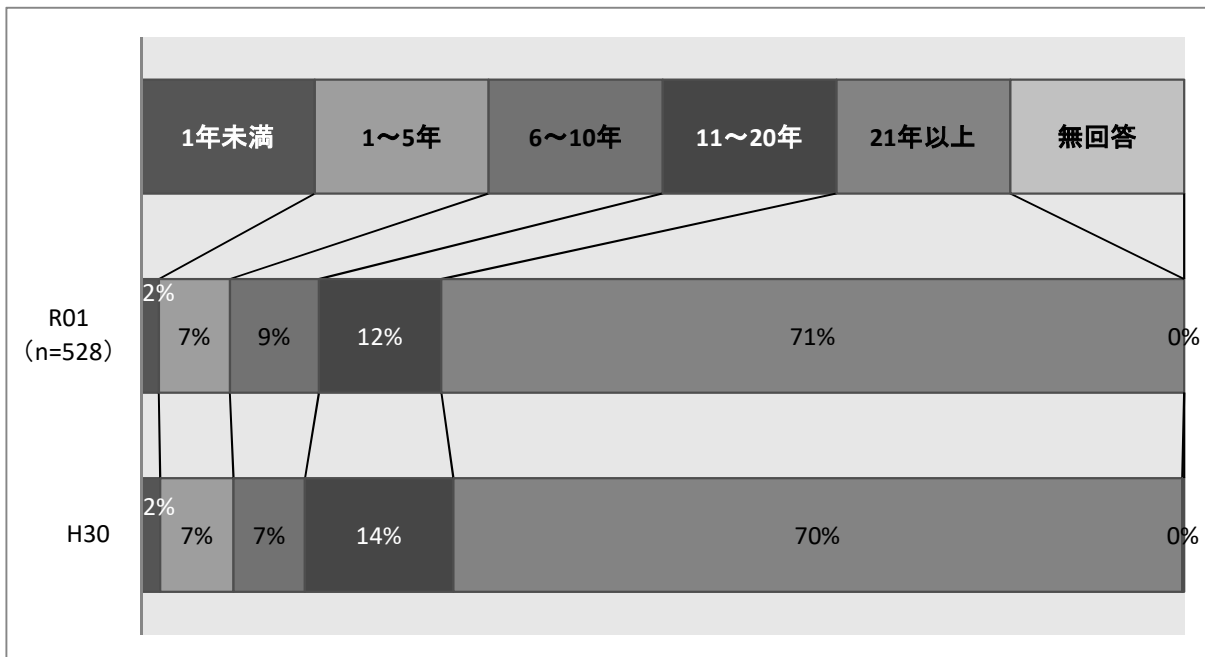


Q3 あなたのお住まいの形態は？



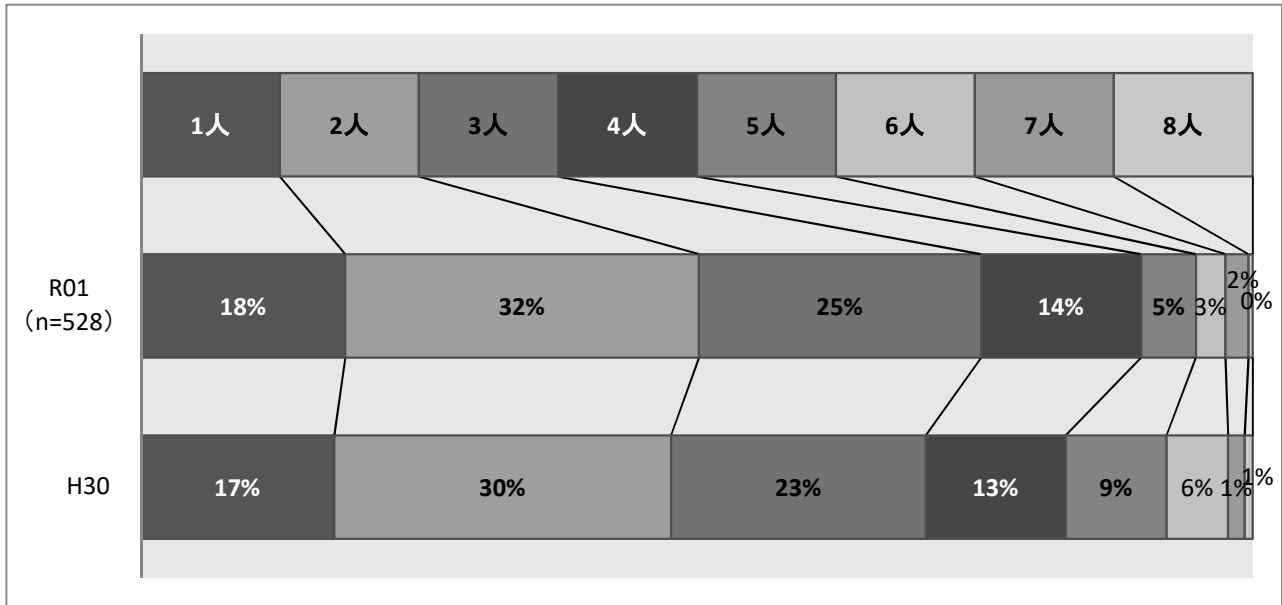
住まいの形態は、「一户建て」が9割を占めています。

Q4 お住まいになって何年ですか？

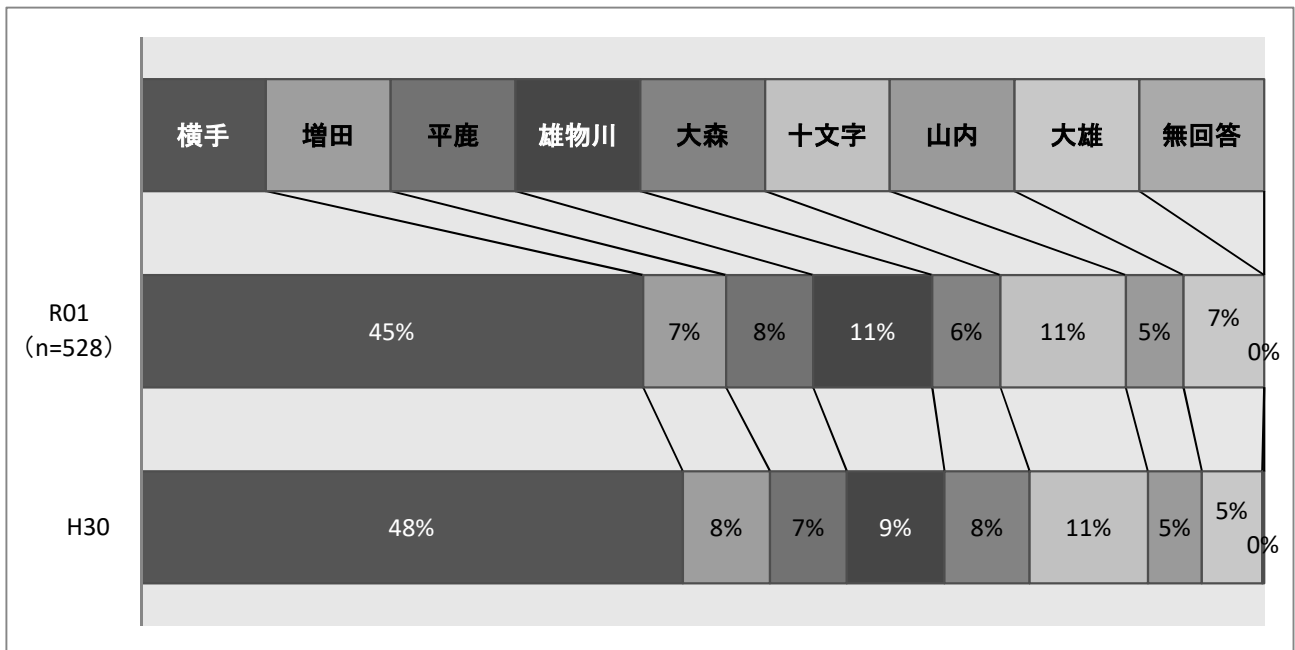


居住年数は、「21年以上」が最も多くなっています。

Q5 一緒に暮らしているご家族は、あなたを含み何人ですか。数字をお書きください。



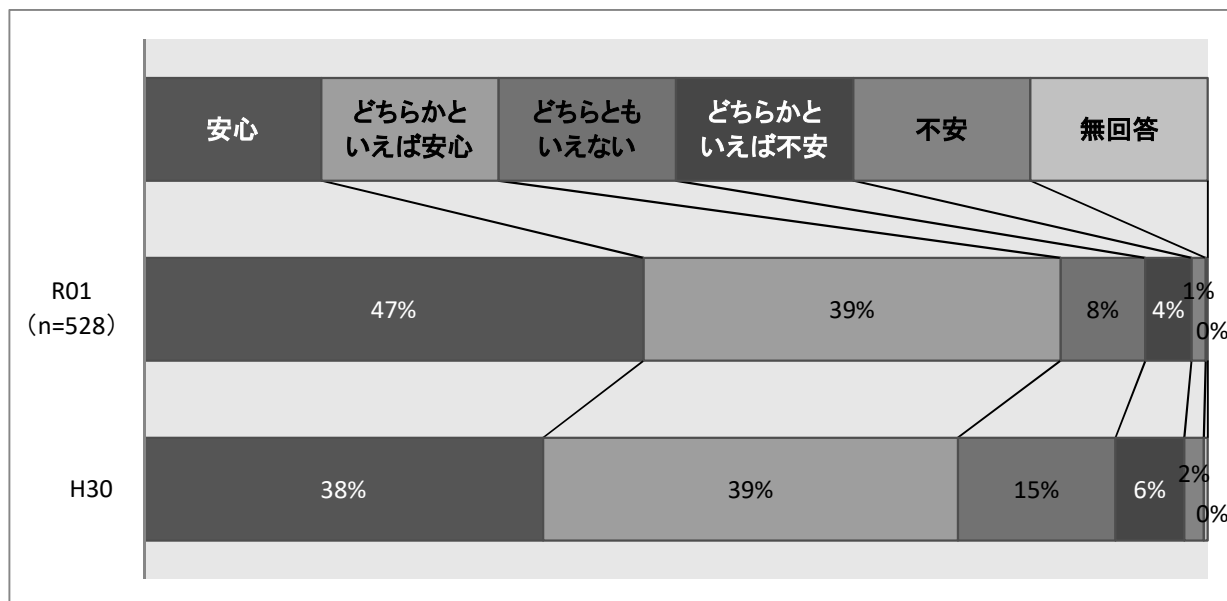
Q6 あなたのお住まいの地域は？





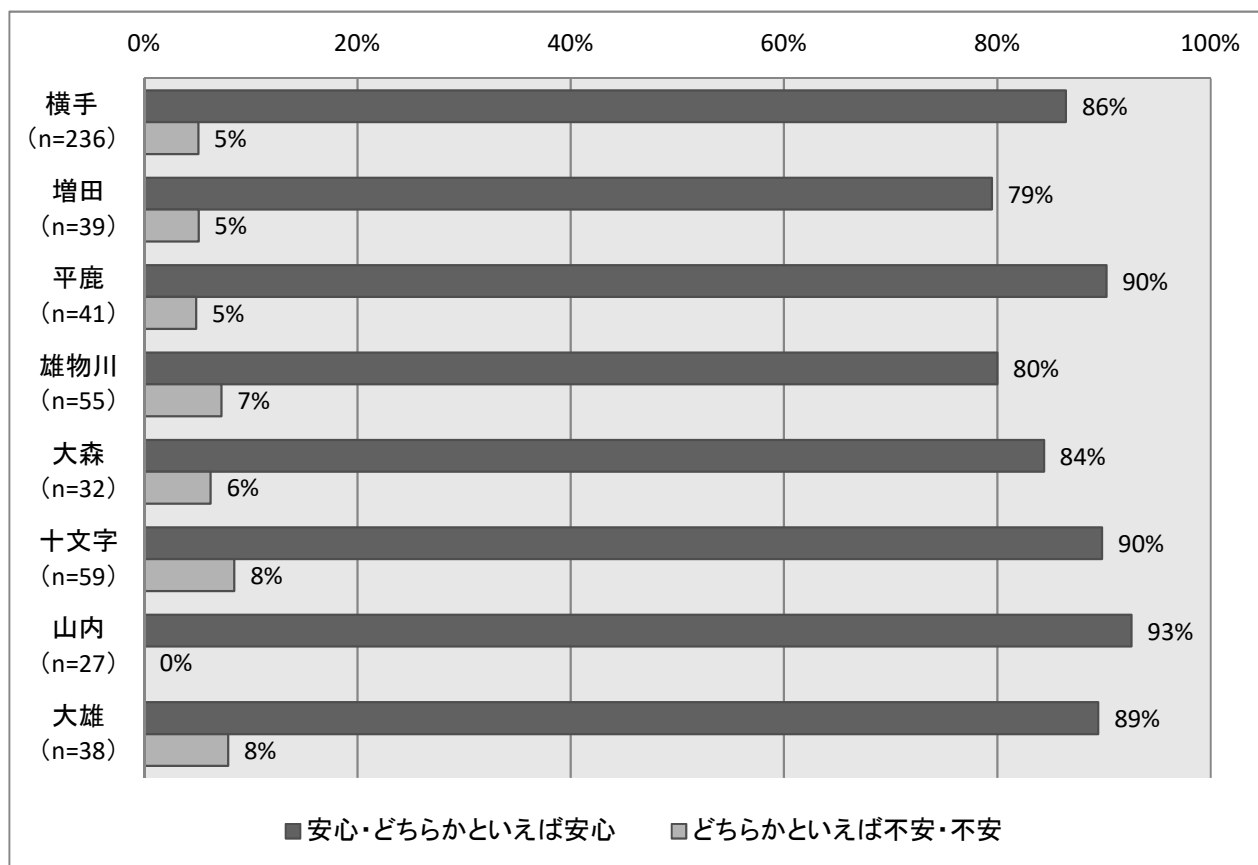
## 2. 水のご使用について

Q7 水道水の水質（安全性）について、どのようにお感じになりますか？

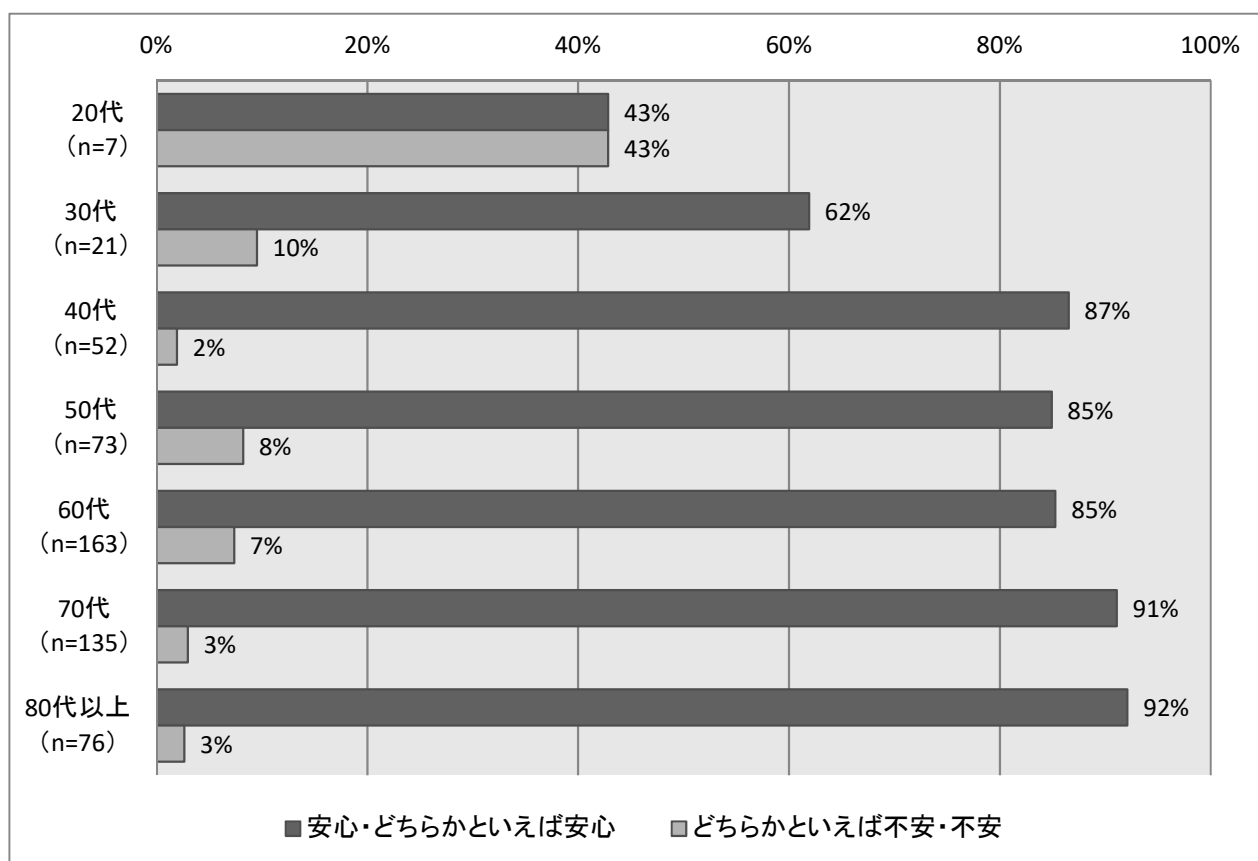


水道水の安全性については、「安心」、「どちらかといえば安心」とする肯定的回答が86%で、平成30年度に「安心」、「どちらかといえば安心」と回答いただいた割合77%から増加しています。

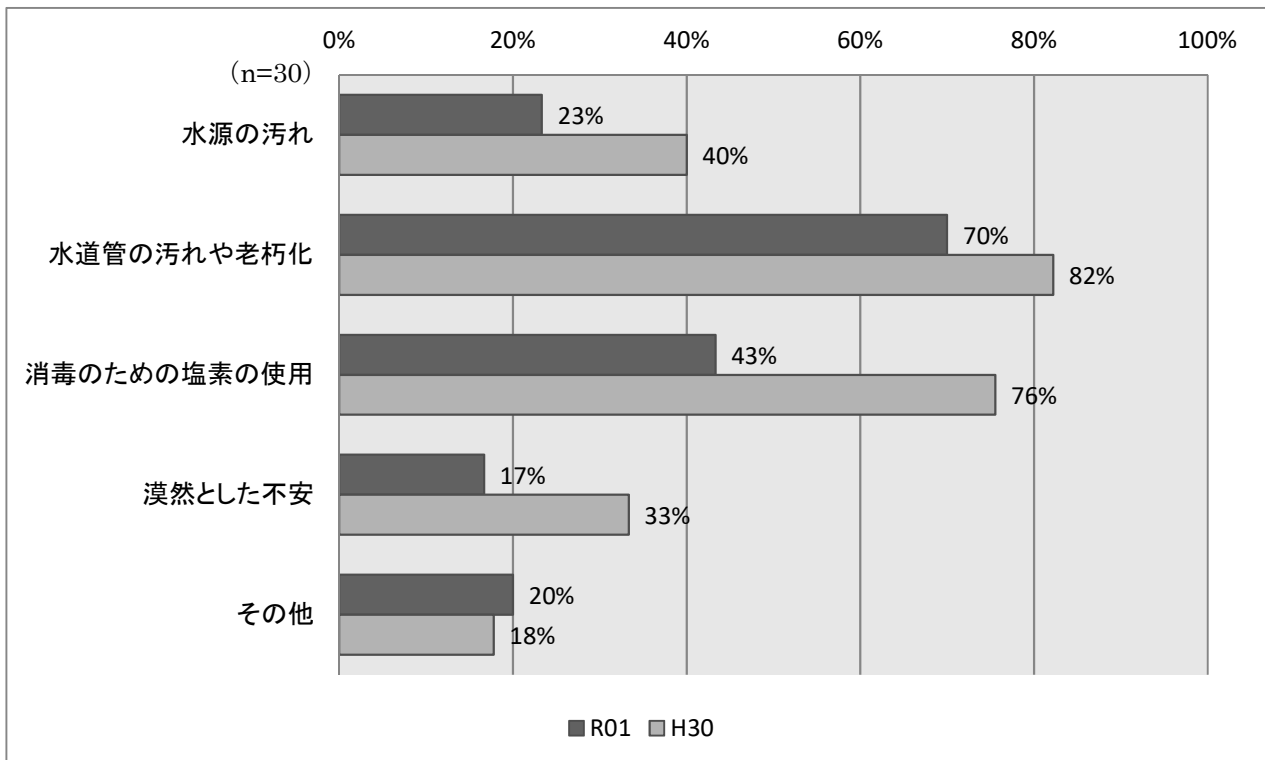
◇地域別に「安心・どちらかといえば安心」と答えた方と「どちらかといえば不安・不安」と答えた方を比較すると次のようになっています。



◇年代別に「安心・どちらかといえば安心」と答えた方と「どちらかといえば不安・不安」と答えた方を比較すると次のようになっています。



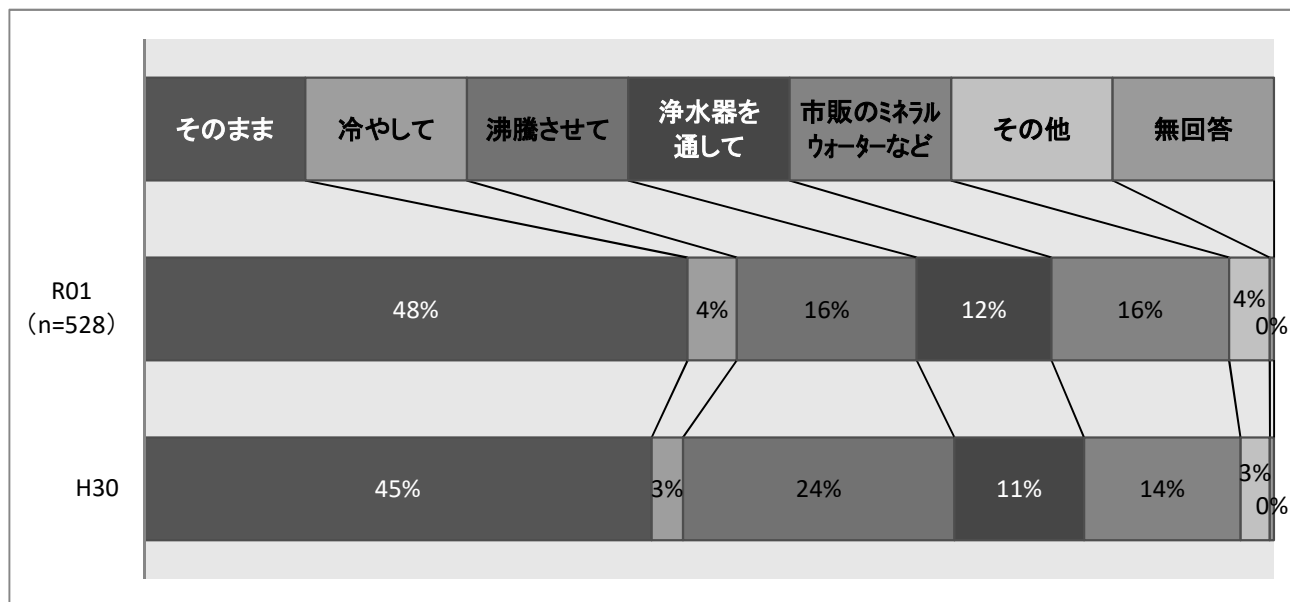
Q8 前記 Q7 の質問で「4. どちらかといえば不安である」「5. 不安である」を選んだ方へ伺います。不安と感じる理由は何ですか？（複数回答）



水道水の安全性について、「不安である」または「どちらかといえば不安である」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「水道管の汚れや老朽化」（70%）と回答する率が最も高くなりました。次いで高い回答率となったのは、「消毒のための塩素の使用」（43%）でした。

- ◆ 「その他」の主なものは次のとおり。
  - ・「赤水・赤さび」に関する記述が2件
  - ・「貯水タンク等へのいたずら」などを心配する記述が1件

Q9 普段飲む水は、どうされていますか？

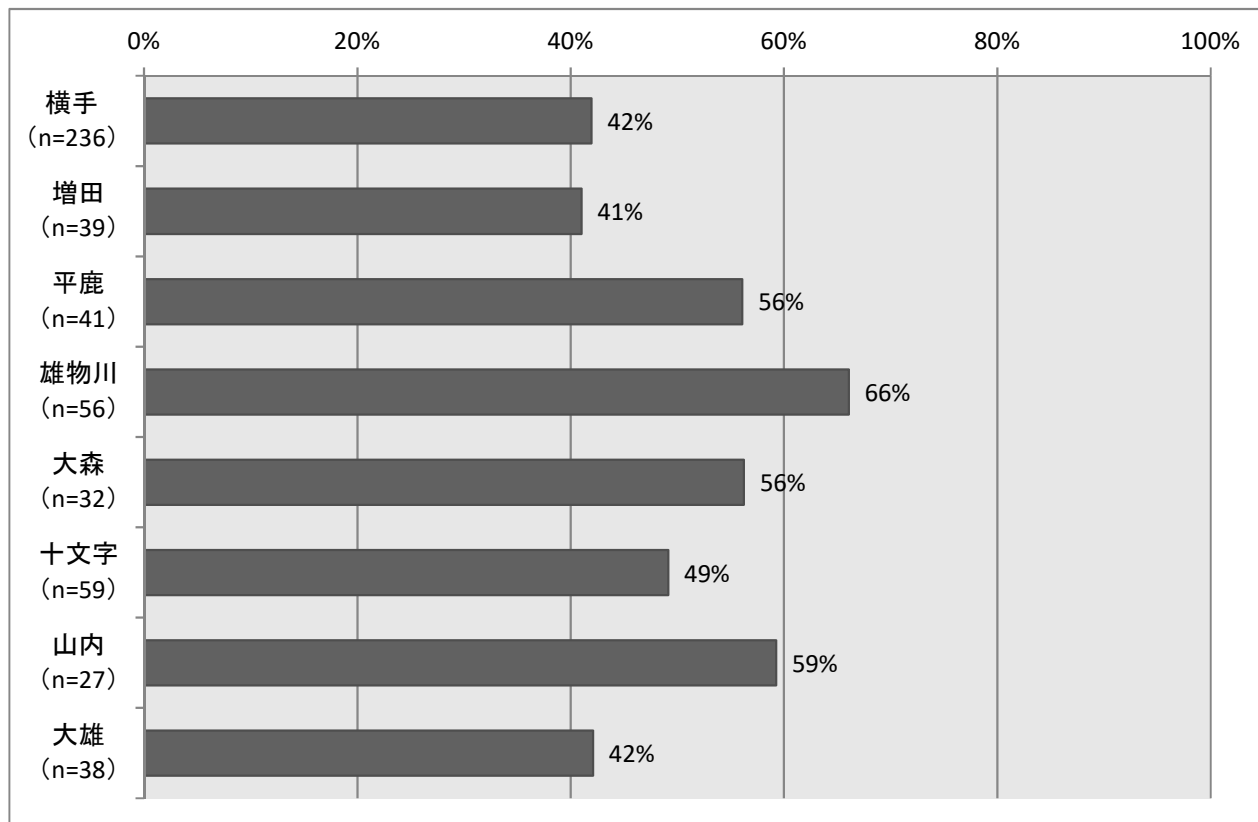


普段飲む水については、「水道水をそのまま飲む」が48%となり、平成30年度に比較して微増となりました。「沸騰させて」と回答された方の減少し、残りの回答は、ほぼ前年と同じ割合の結果となりました。

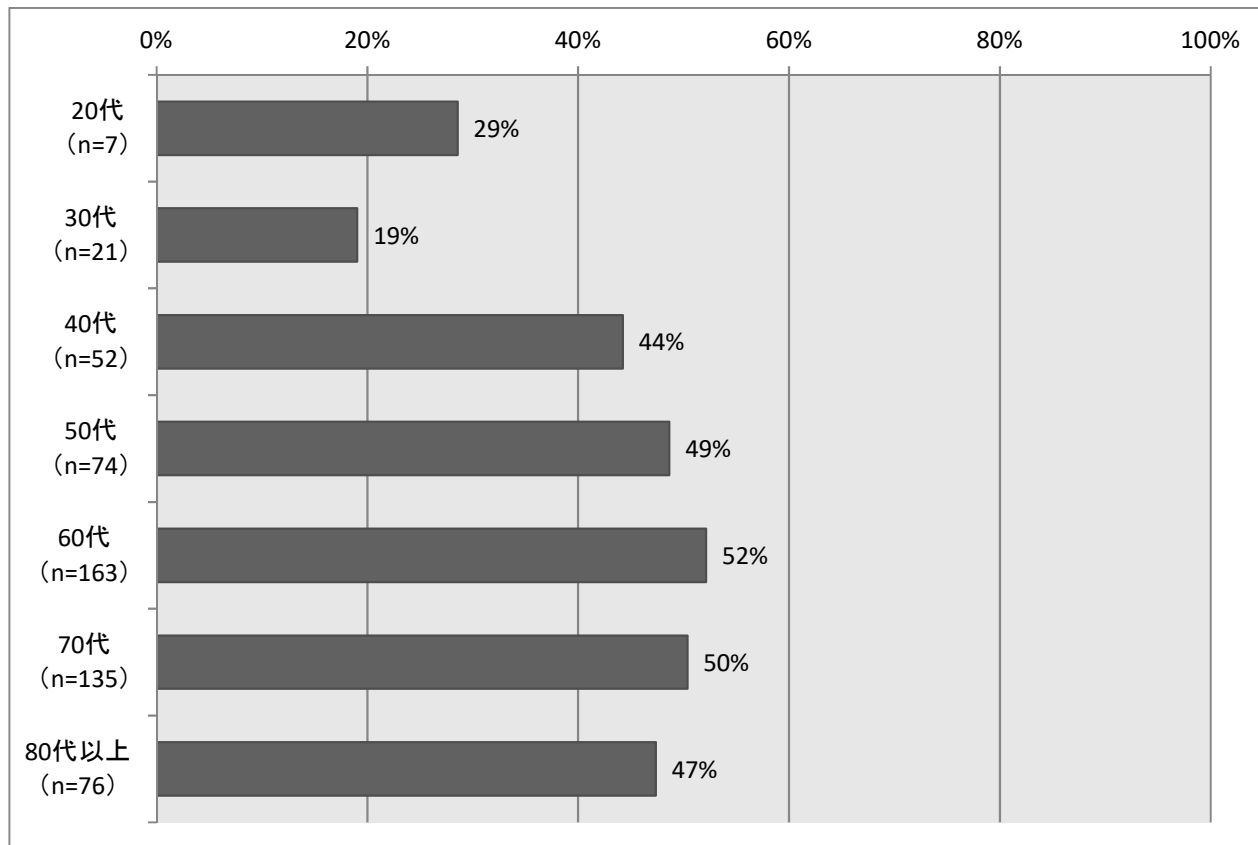
◆「その他」の主なものは次のとおり。

- ・井戸水、地下水、湧水の利用が8件
- ・飲まないが3件
- ・水道水を一定の時間流してから飲むが1件
- ・温泉水が1件

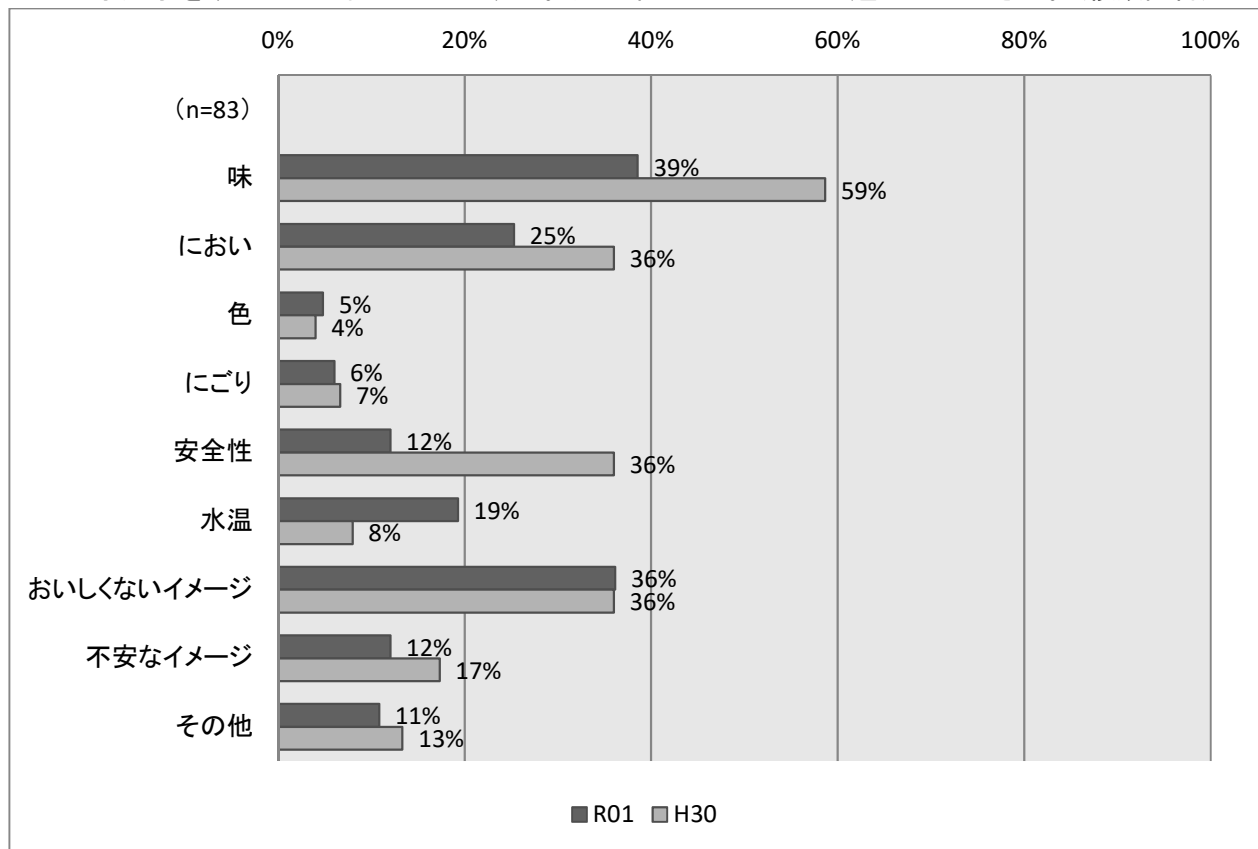
◇地域別に「水道水をそのまま飲む」と答えた方の割合をみると次のようになっています。



◇年代別に「水道水をそのまま飲む」と答えた方の割合をみると次のようになっています。



Q10 前記 Q9 の質問で「5. 市販のミネラルウォーターなどを飲む」を選んだ方へおたずねします。あなたが水道水を飲まない理由はなんですか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答）

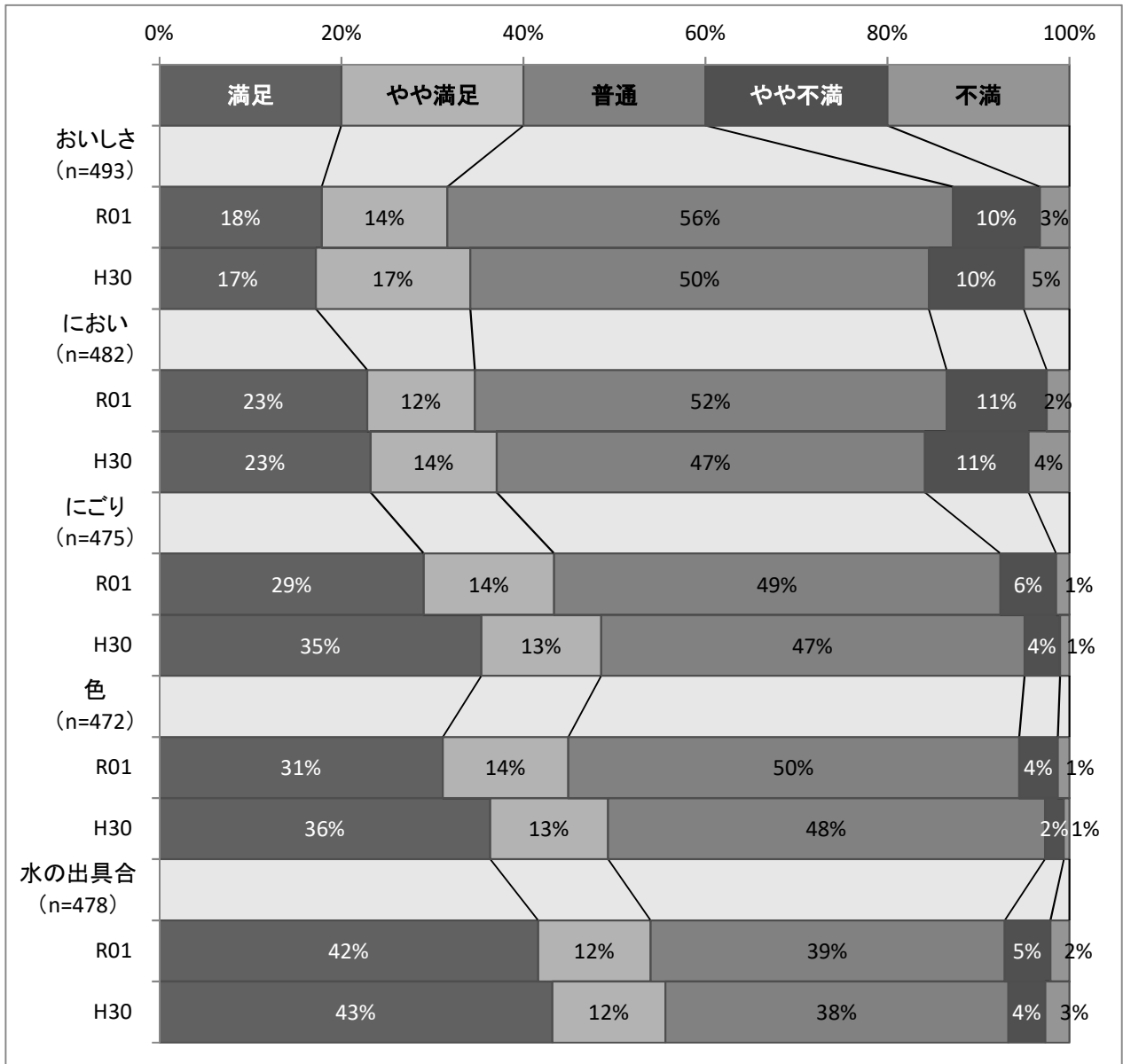


水道水を飲まない理由として、「味」（39%）と「おいしくないイメージ」（36%）と回答した方が多くなりました。平成 30 年度と比較すると「味」、「におい」、「安全性」についての回答率は減少していますが、「水温」とする回答率は増加しております。

◆水道水を飲まない理由として挙げられた「その他」の主なものは次のとおり。

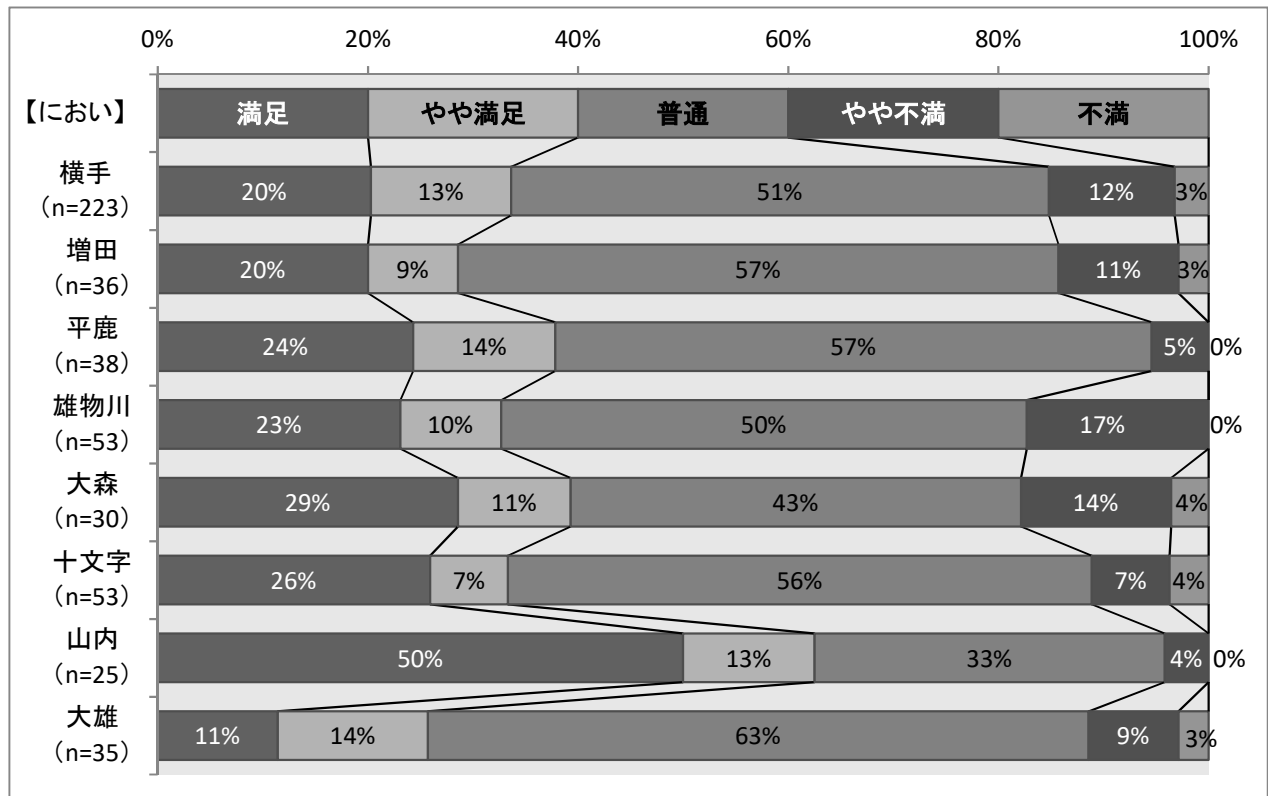
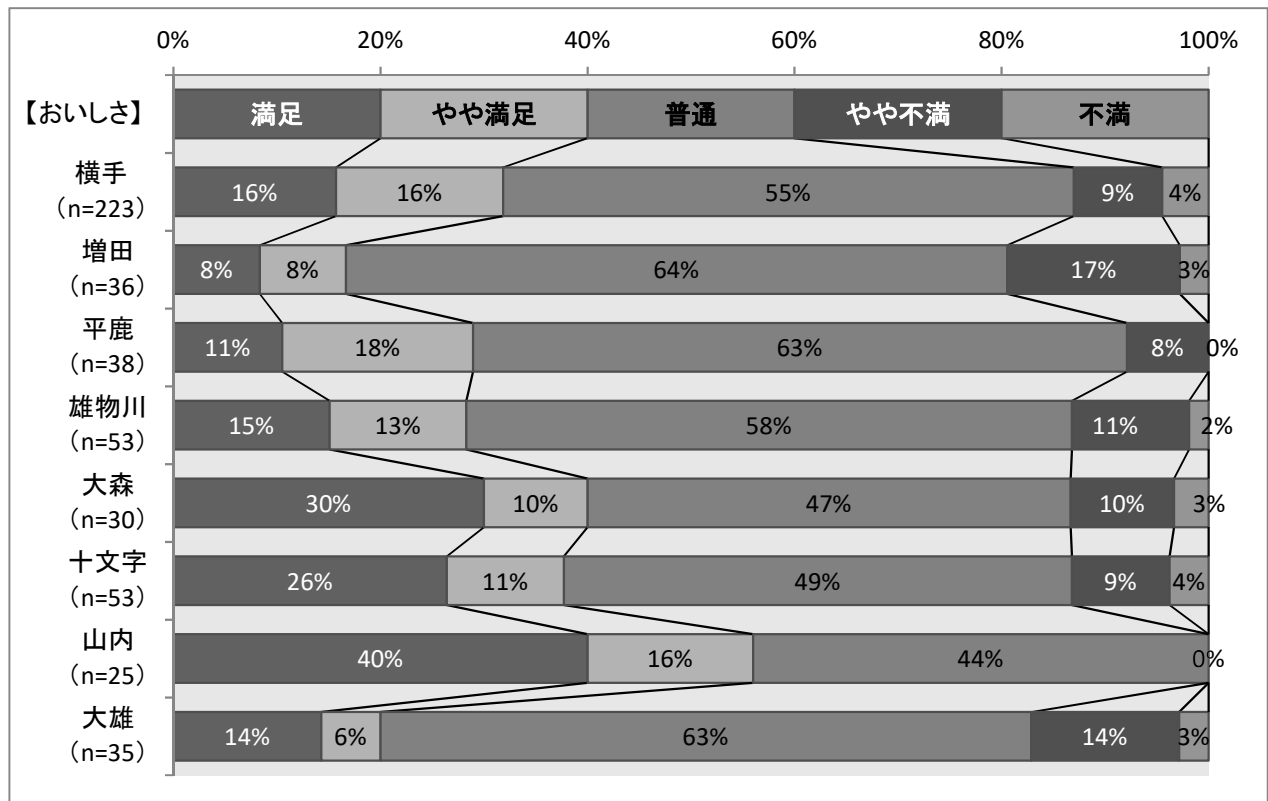
- ・塩素やにおいなど、水道水に悪いイメージを持つ記述が 3 件
- ・断水時の習慣でミネラルウォーターを飲むようになった。
- ・ミネラルウォーターの味が水道水よりも好きだから。
- ・冷水を殆ど飲まない。

Q11 水道水について、どの程度、満足していますか？それぞれ1つずつ選んでください。

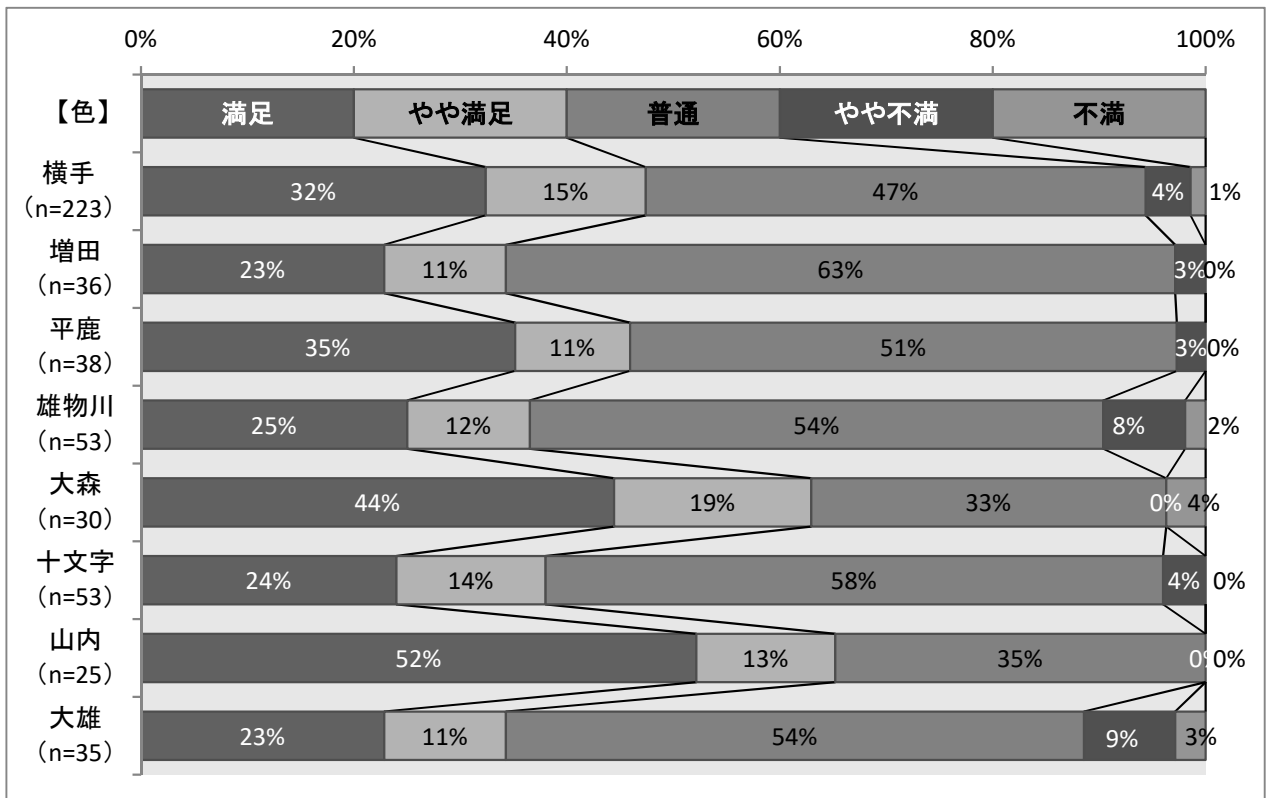
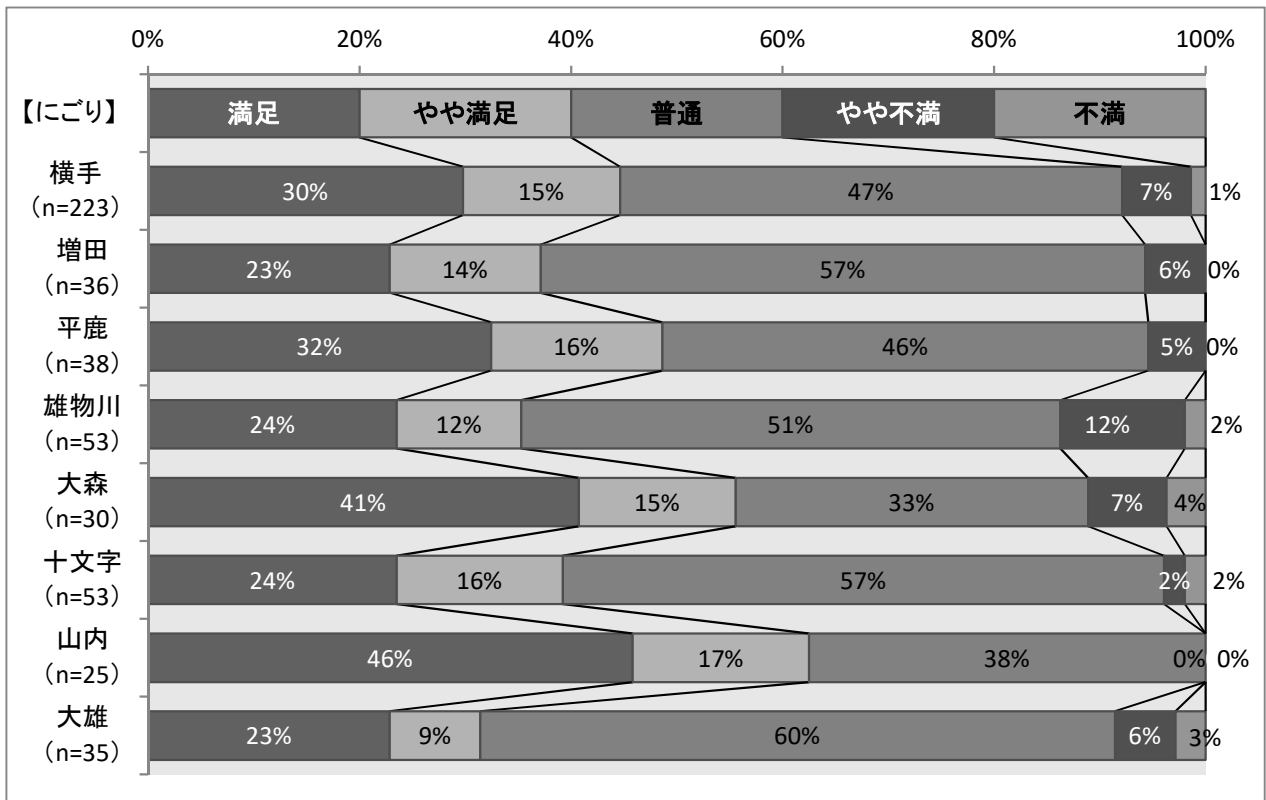


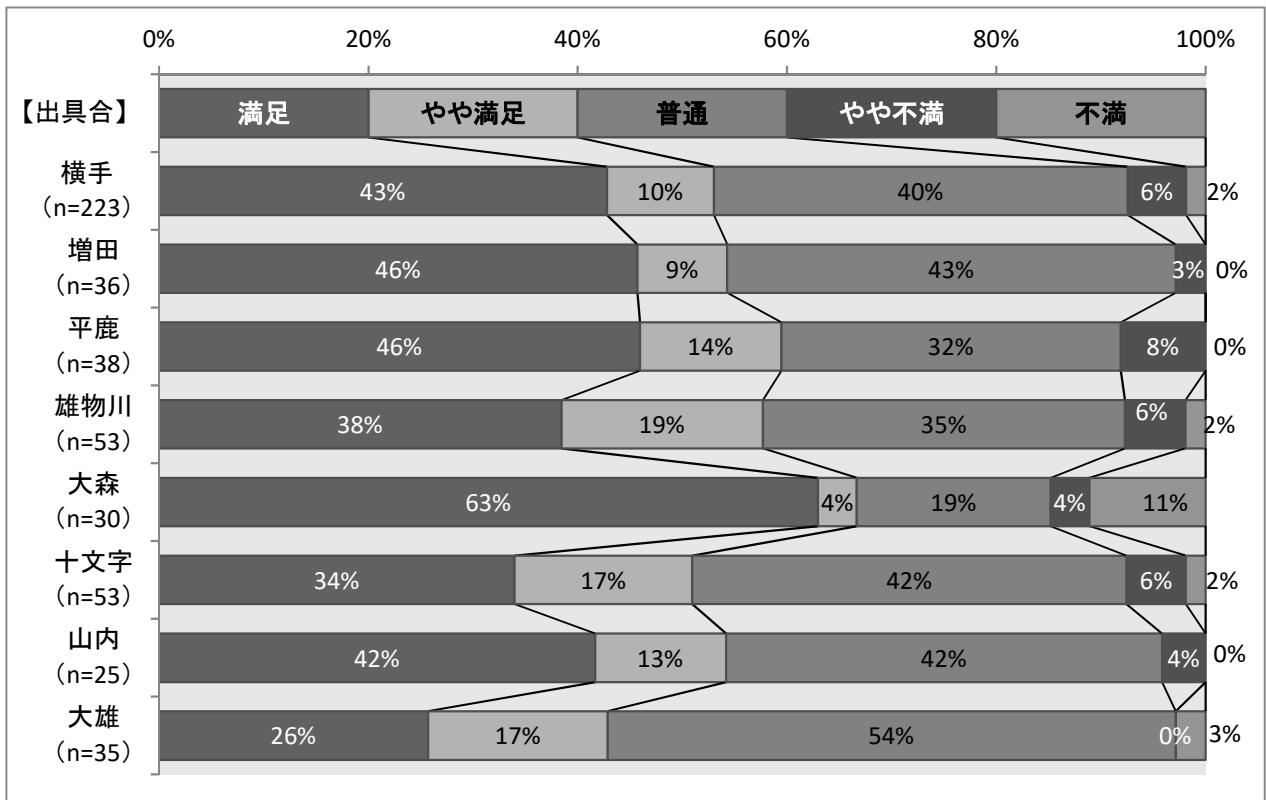
全体的に「満足」「やや満足」が「不満」「やや不満」より回答比率が高いが、「おいしさ」、「におい」といった感覚的な部分では相対的に「不満」「やや不満」のポイント数が高くなっています。

◇設問の【おいしさ】【におい】【にごり】【色】【水の出具合】の各項目の回答を地域別にみると次のようになっています。

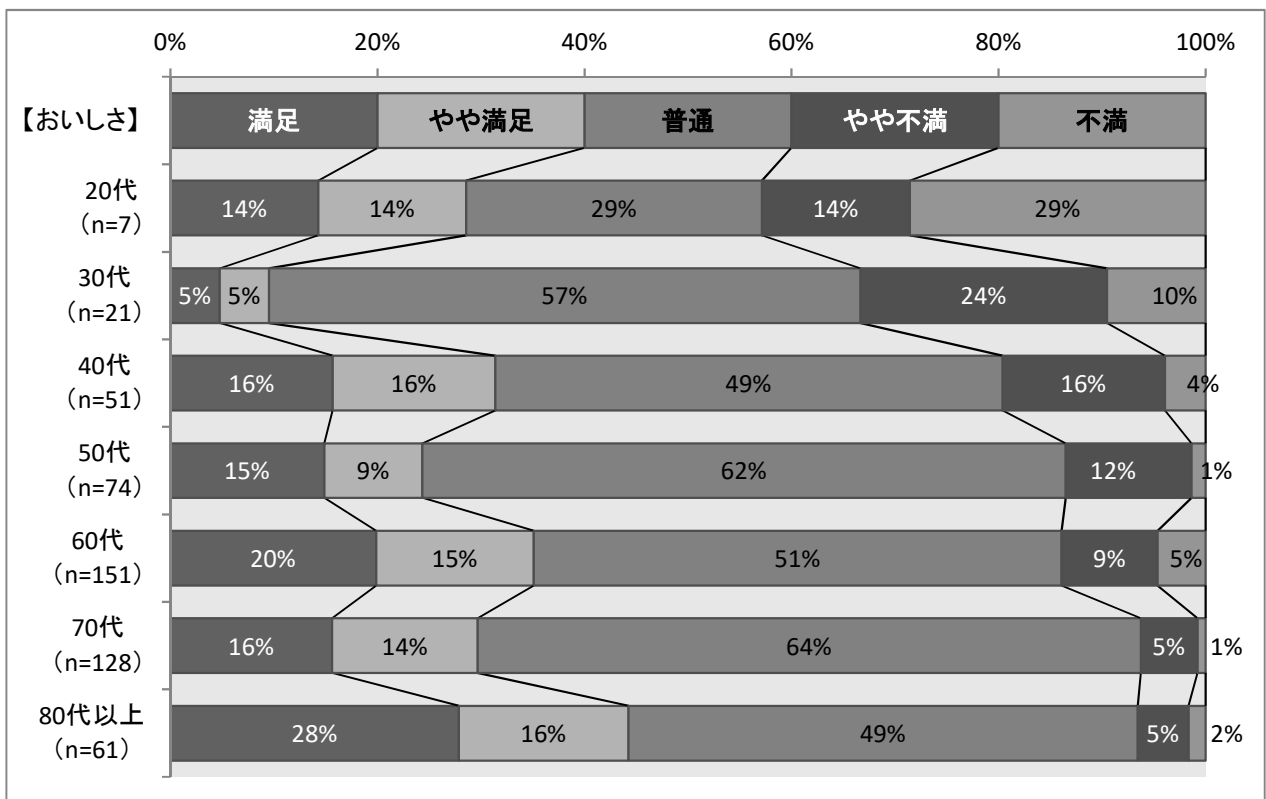


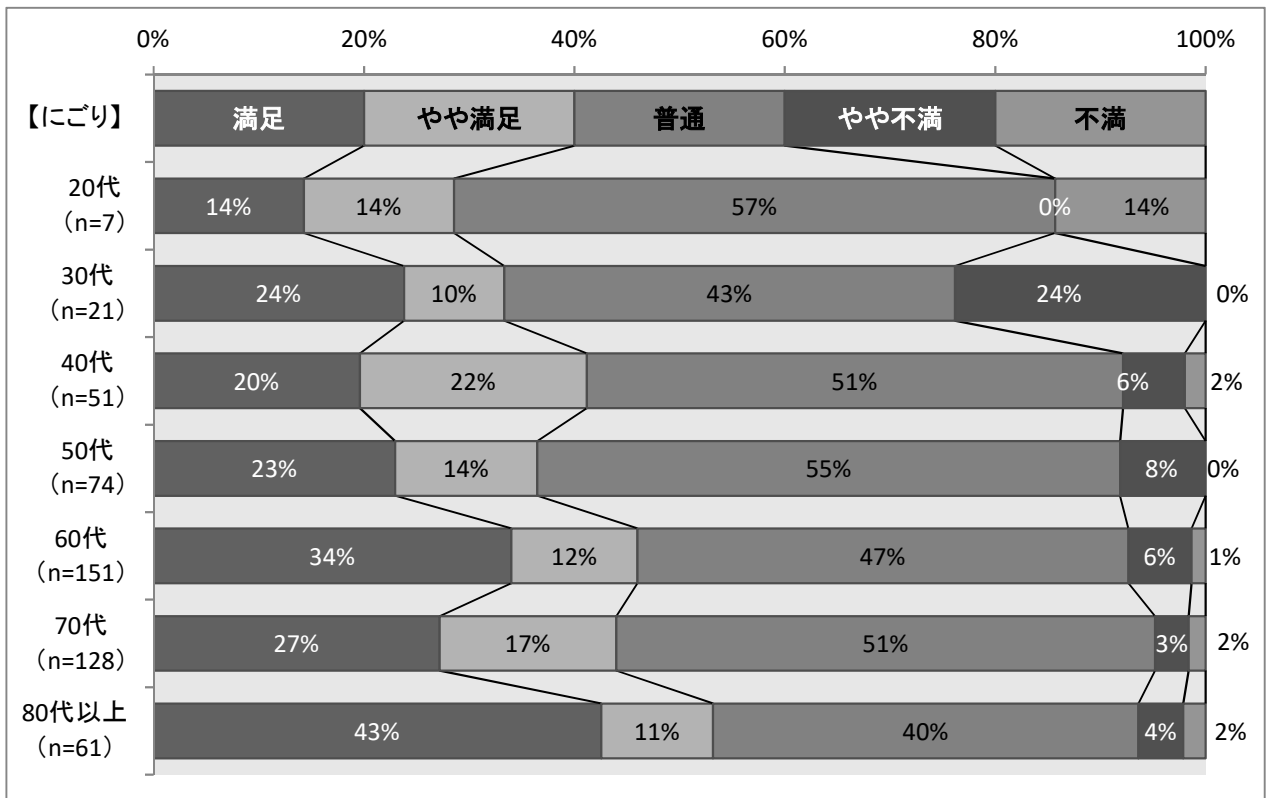
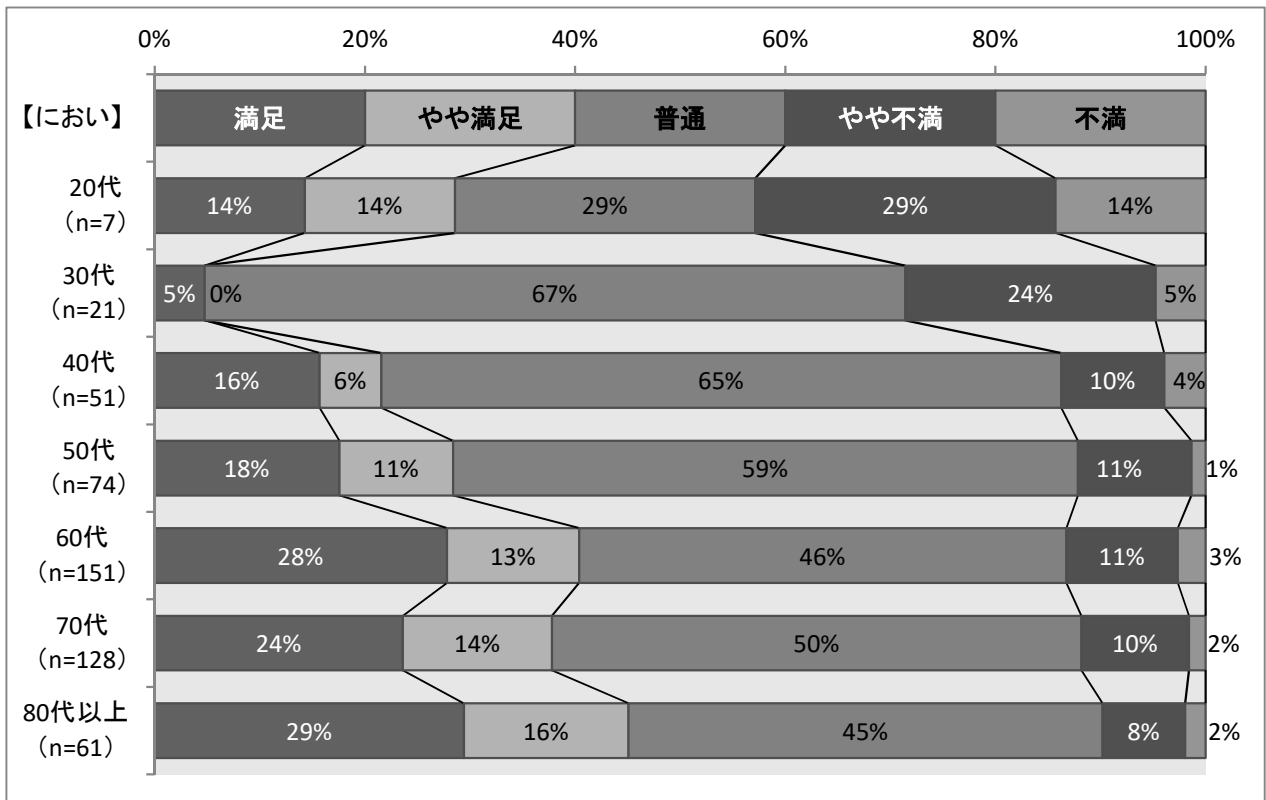


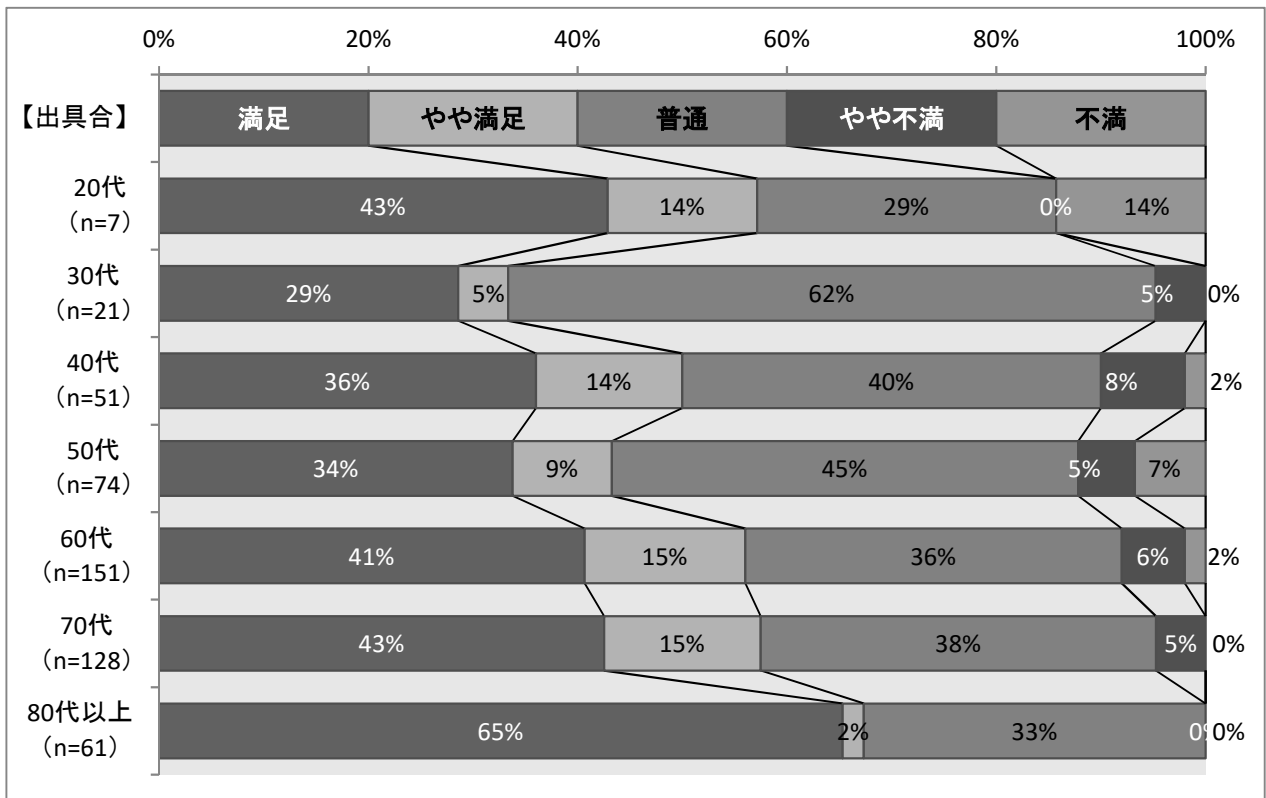
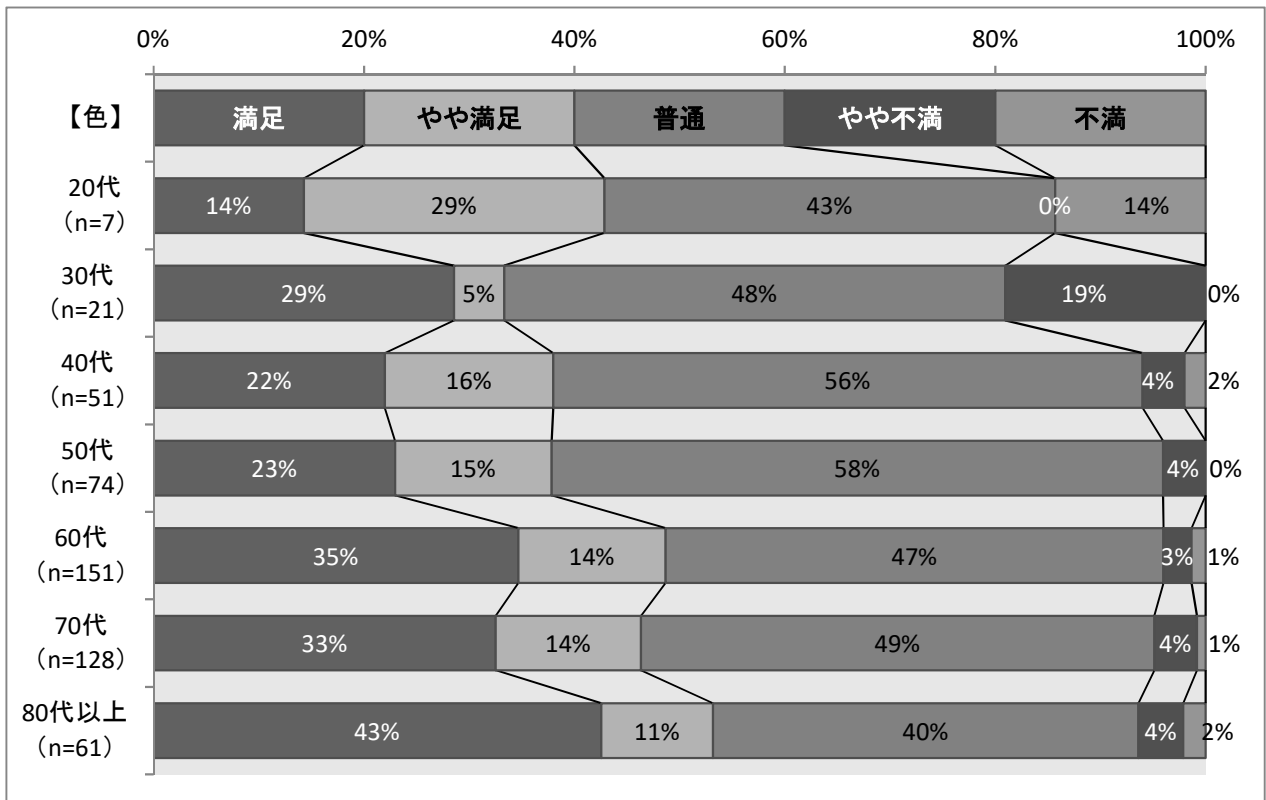




◇設問の【おいしさ】【におい】【にごり】【色】【水の出具合】の各項目の回答を年代別にみると次のようになっています。

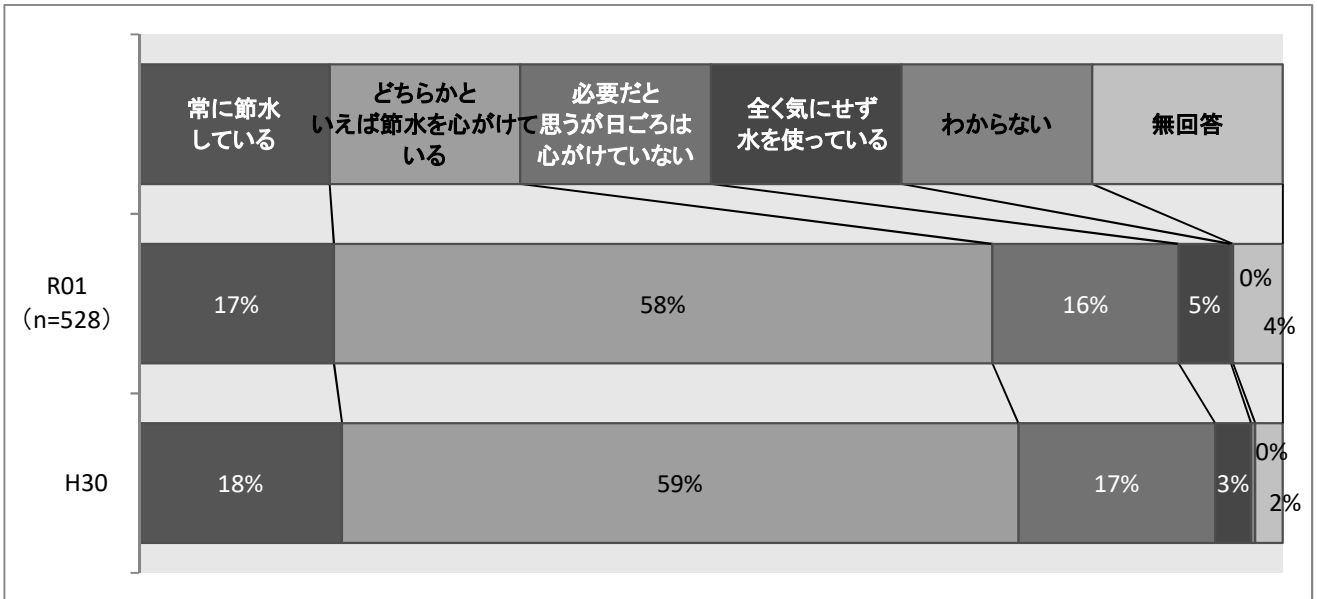






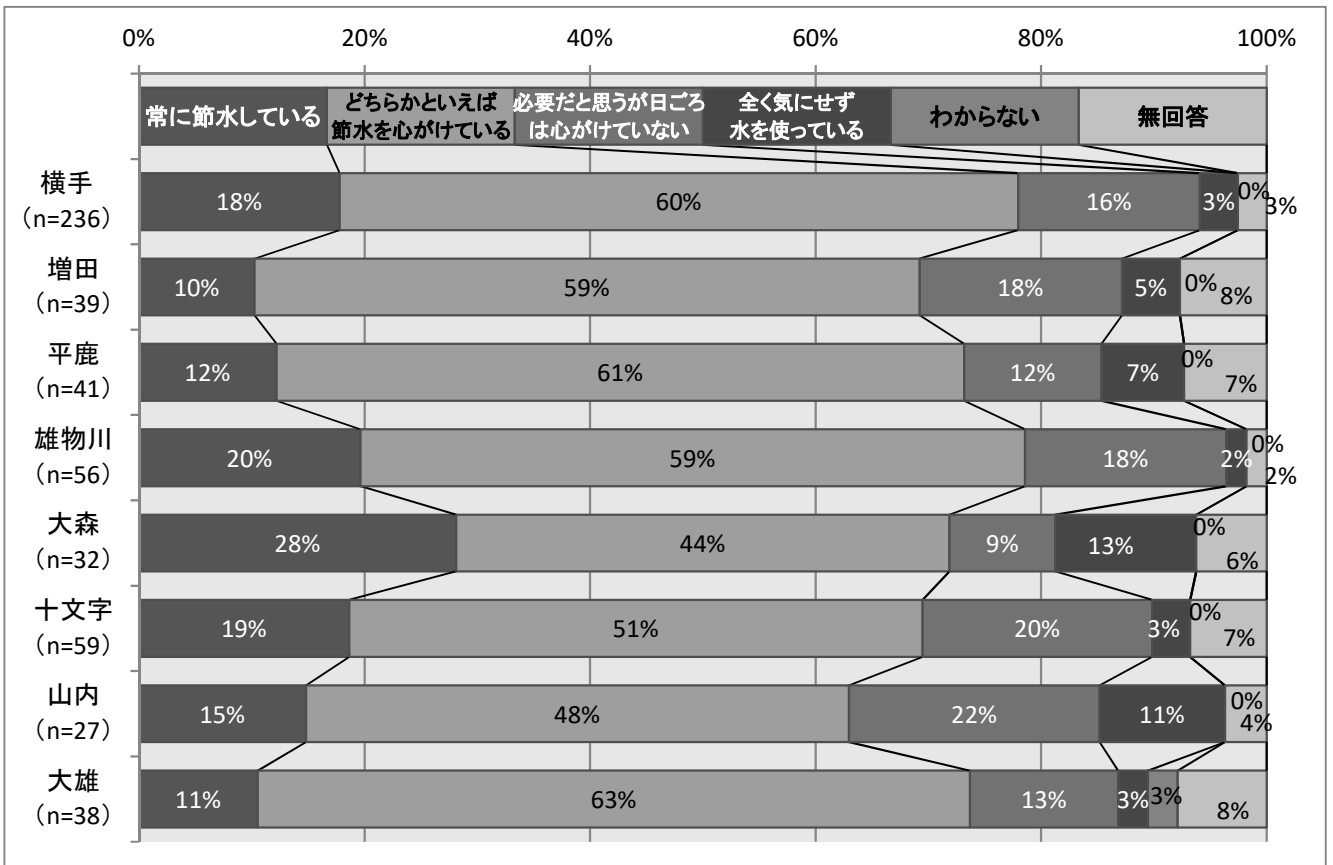
### 3. 節水について

Q12 あなたのご家庭では節水を心がけていますか？

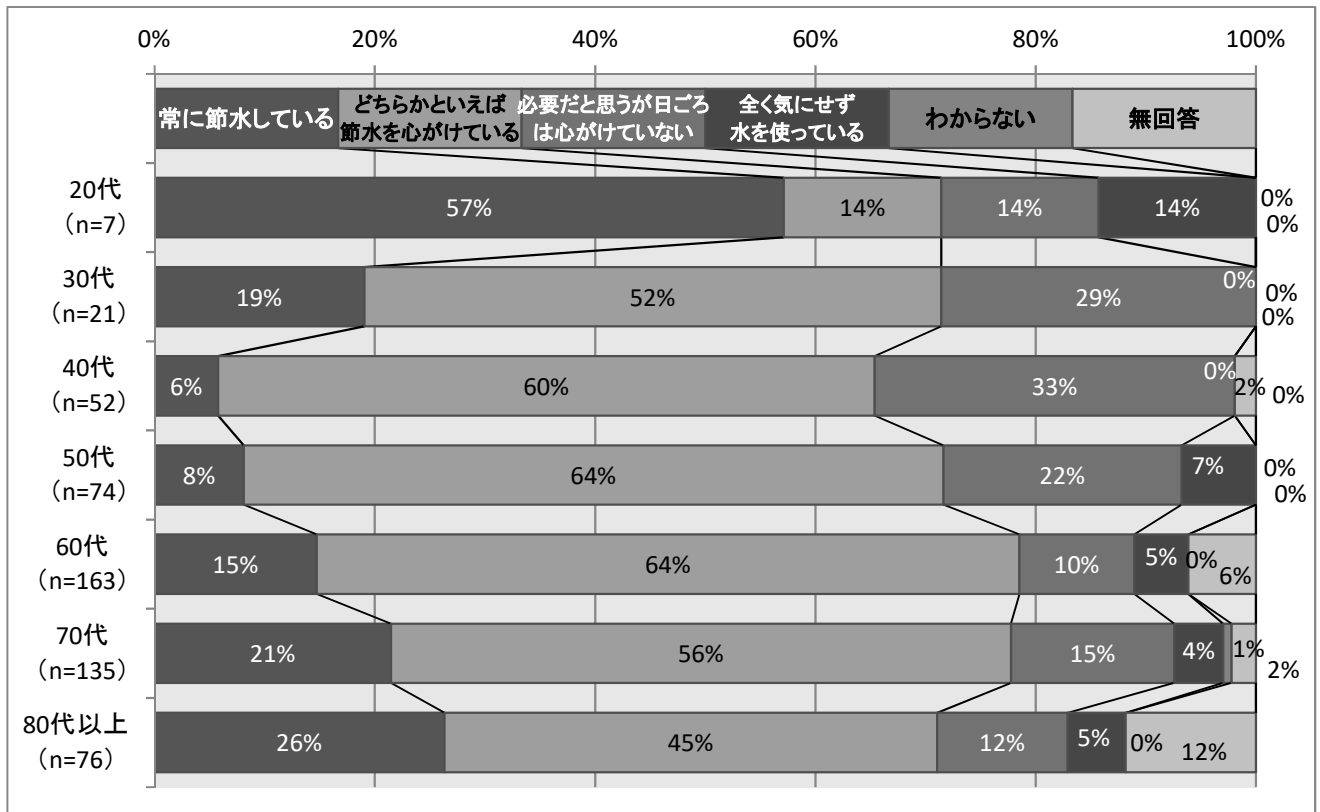


「常に節水している」「どちらかといえば節水を心がけている」と答えた方の割合が 75%を占めています。節水の意識は平成 30 年度と比較してほぼ同じ回答になりました。

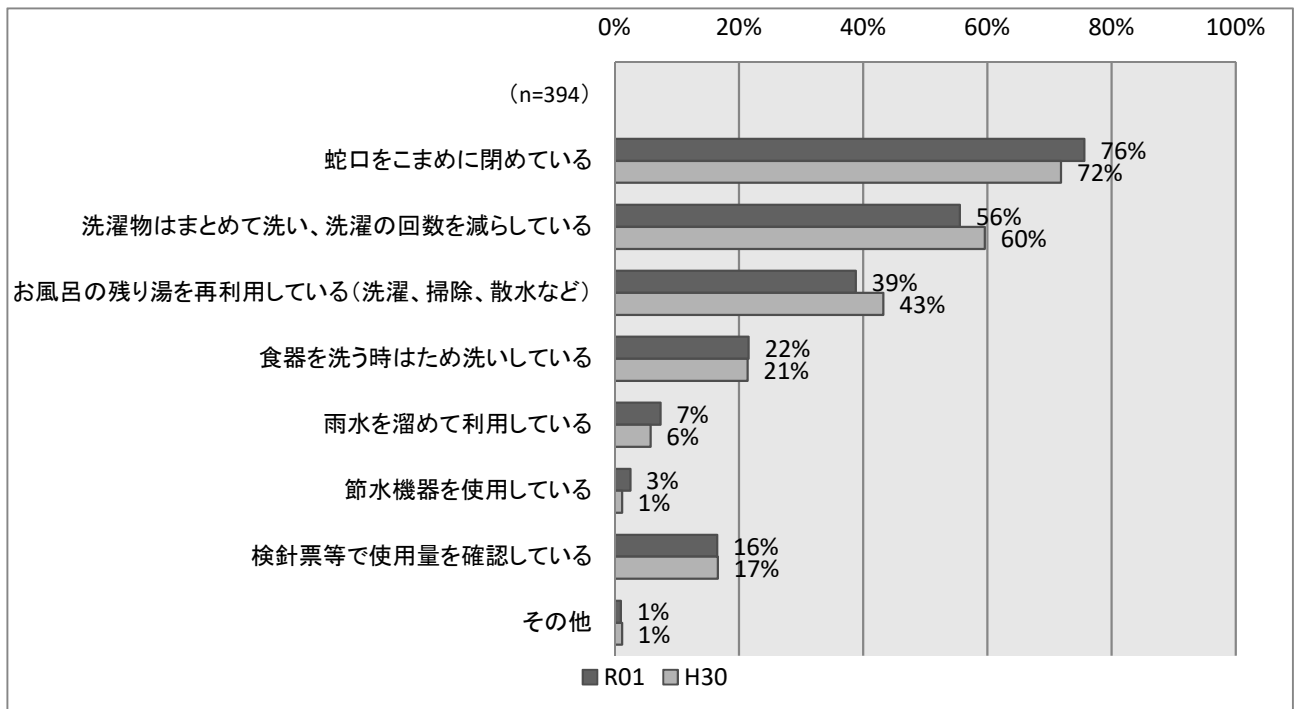
◇地域別にみると次のようになっています。



◇年代別にみると次のようになっています。



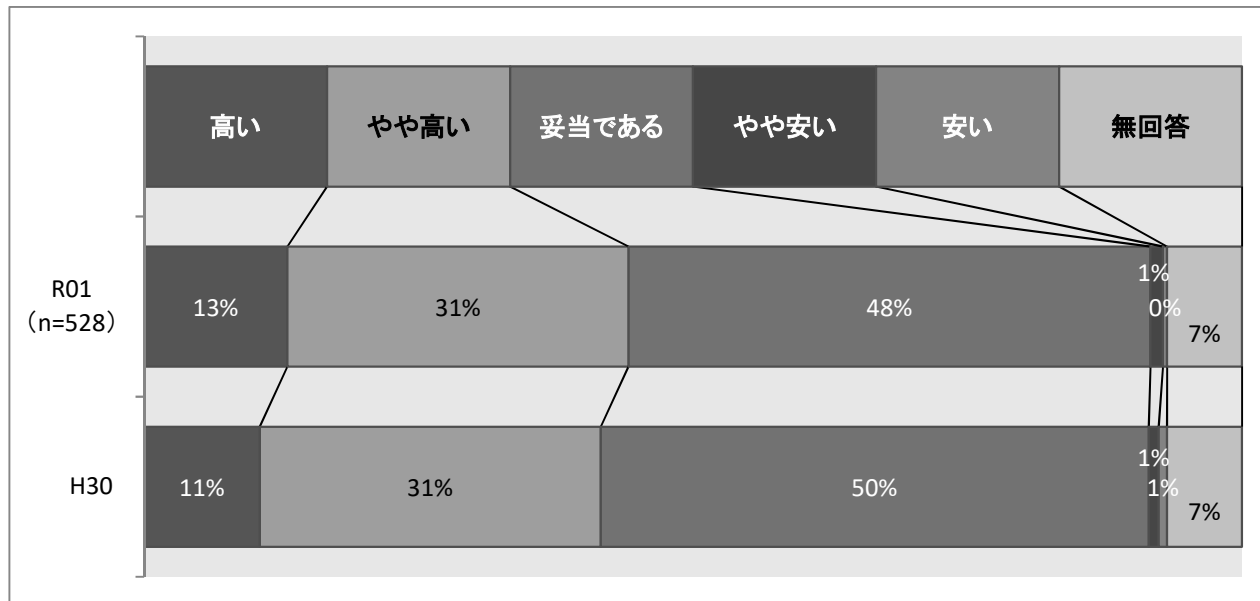
Q13 前記 Q12 の質問で、「1. 常に節水している」「2. どちらかといえば節水を心がけている」を選んだ方へ伺います。あなたのご家庭では、どのようにして節水していますか？（複数回答）



「常に節水している」「どちらかといえば節水を心がけている」と答えた方の節水方法については、「蛇口をこまめに閉めている」との回答が最も多く、無駄遣いを避け、適正な量の使用を心がけていることが分かります。

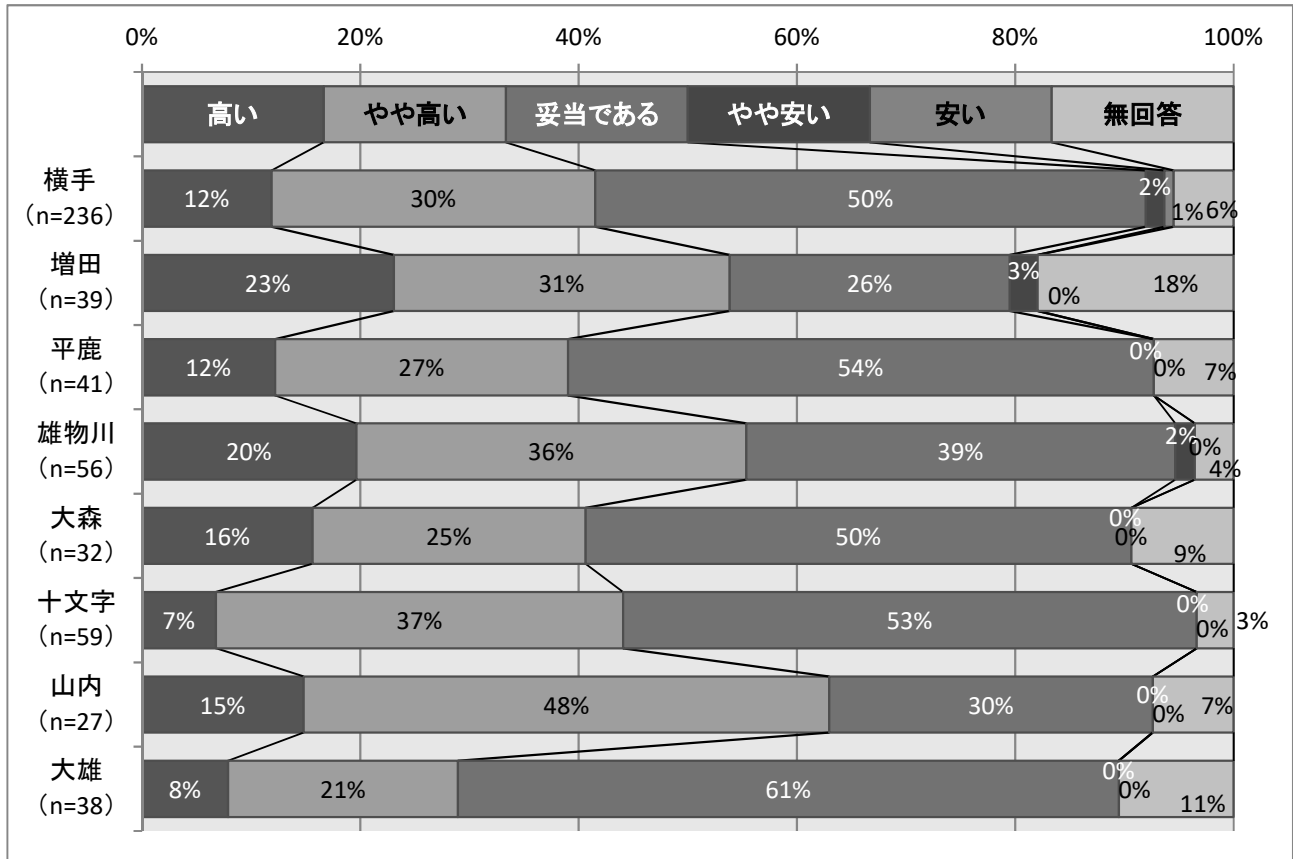
## 4. 水道料金について

Q14 現在の水道料金についてどのようにお考えですか？

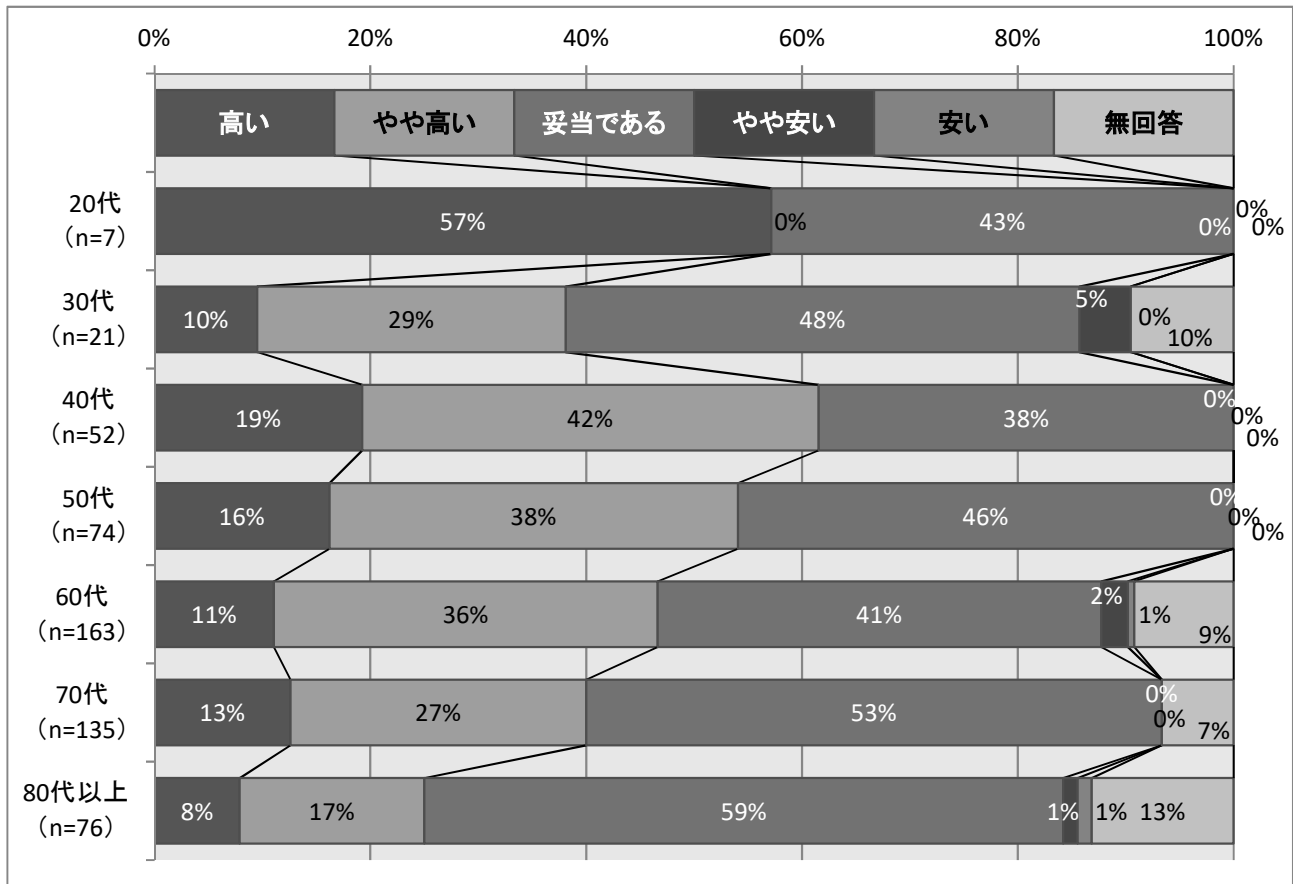


「高い」「やや高い」と回答する方と「妥当である」と回答する方の割合が拮抗する結果となっています。

◇地域別にみると次のようになっています。

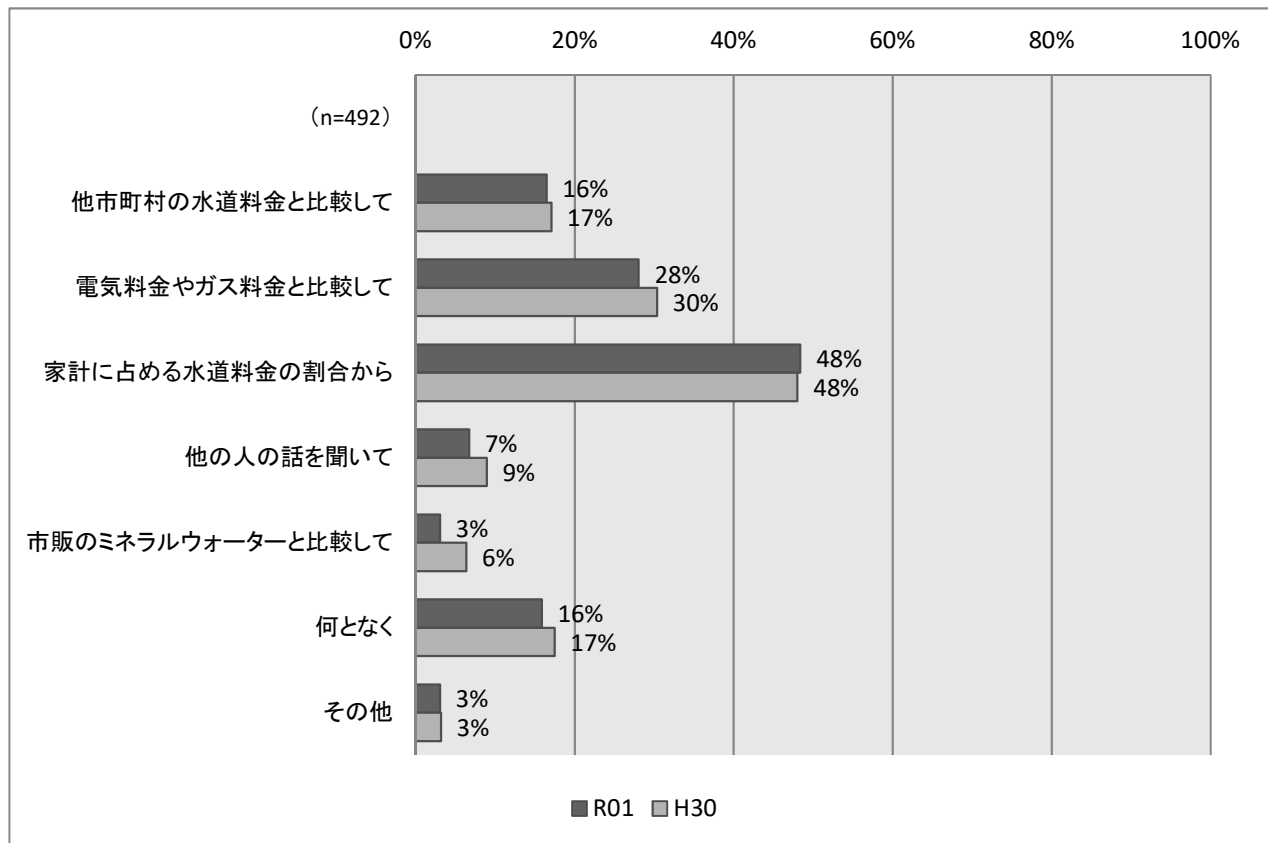


◇年代別にみると次のようになっています。





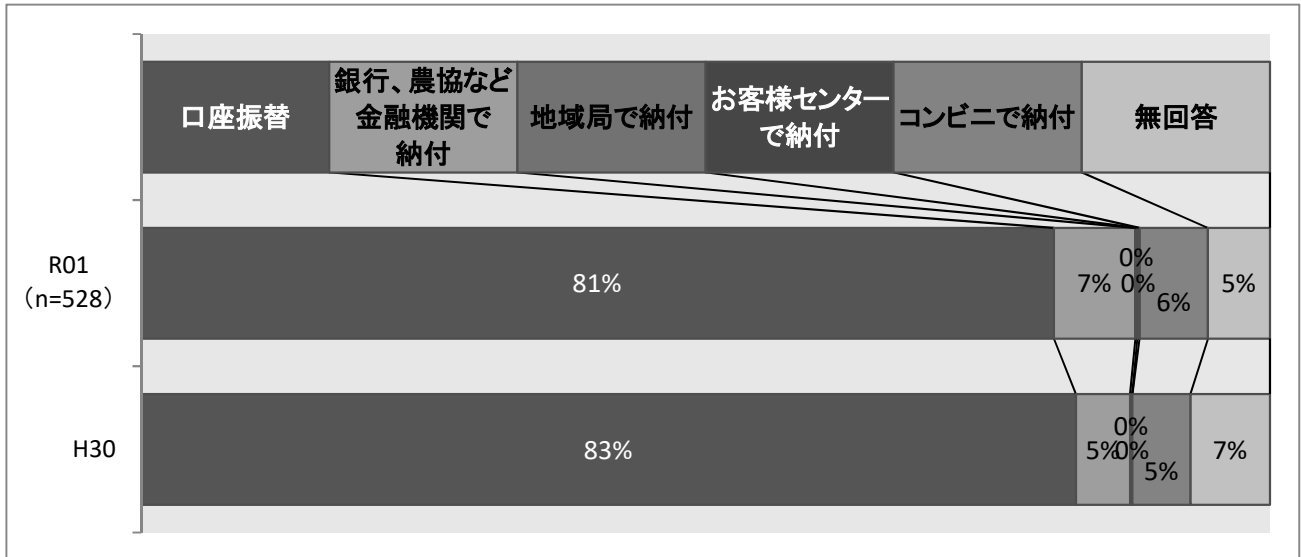
Q15 あなたはどのような理由で前記 Q14 の回答をされましたか。次の中からいくつでもお選びください。(複数回答)



「家計に占める水道料金の割合から」と回答する方の割合が 48%と高くなっています。次いで、「電気料金やガス料金と比較して」、「他市町村の水道料金と比較して」と平成 30 年度と同じ順で高い割合となりました。

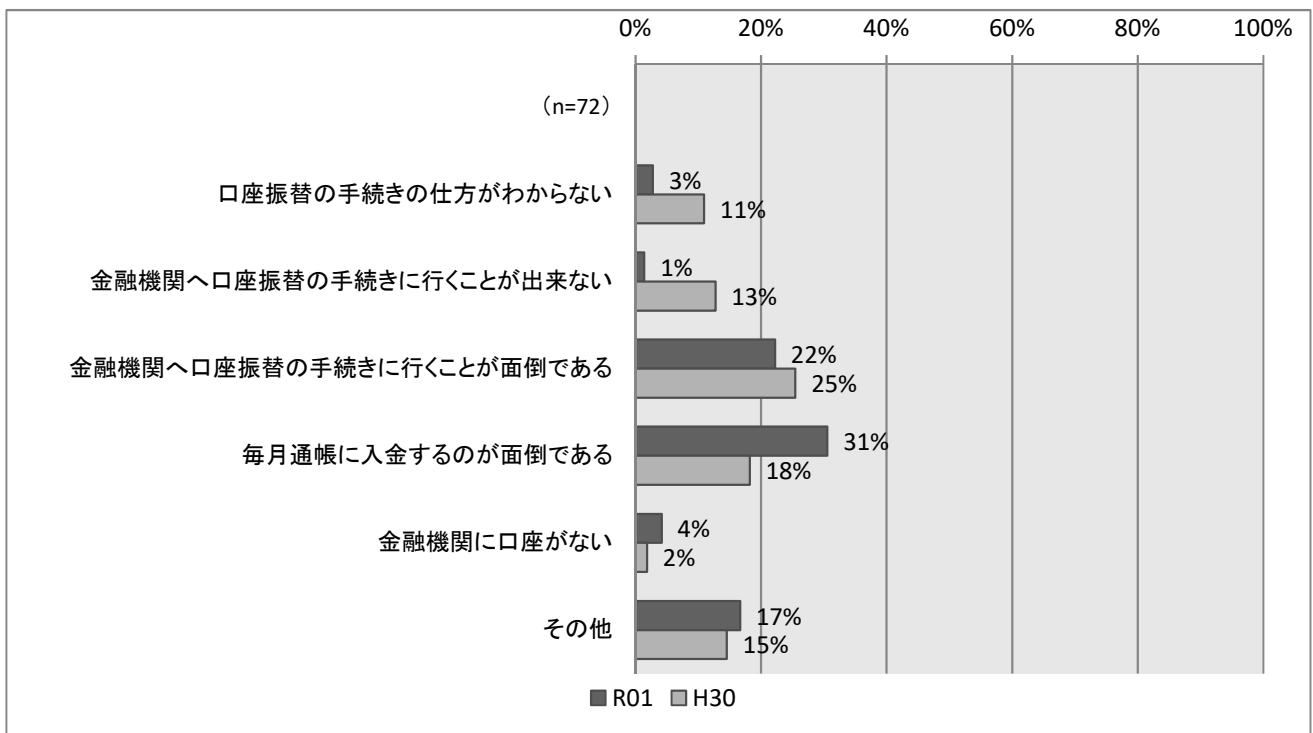
- ◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。
- ・安心安全な事業としては当然の料金。
- ・よくわからないが、水が一番大切だから。
- ・水は生命の基本だから、個人宅は一律〇円という形にすればいい。
- ・合併してから高くなった。
- ・自家水と比べて味がおいしくなく、その価値を比較して高い。

Q16 現在、水道料金はどのような方法でお支払いいただいておりますか？



8割を超える方々に「口座振替」を選択いただいています。

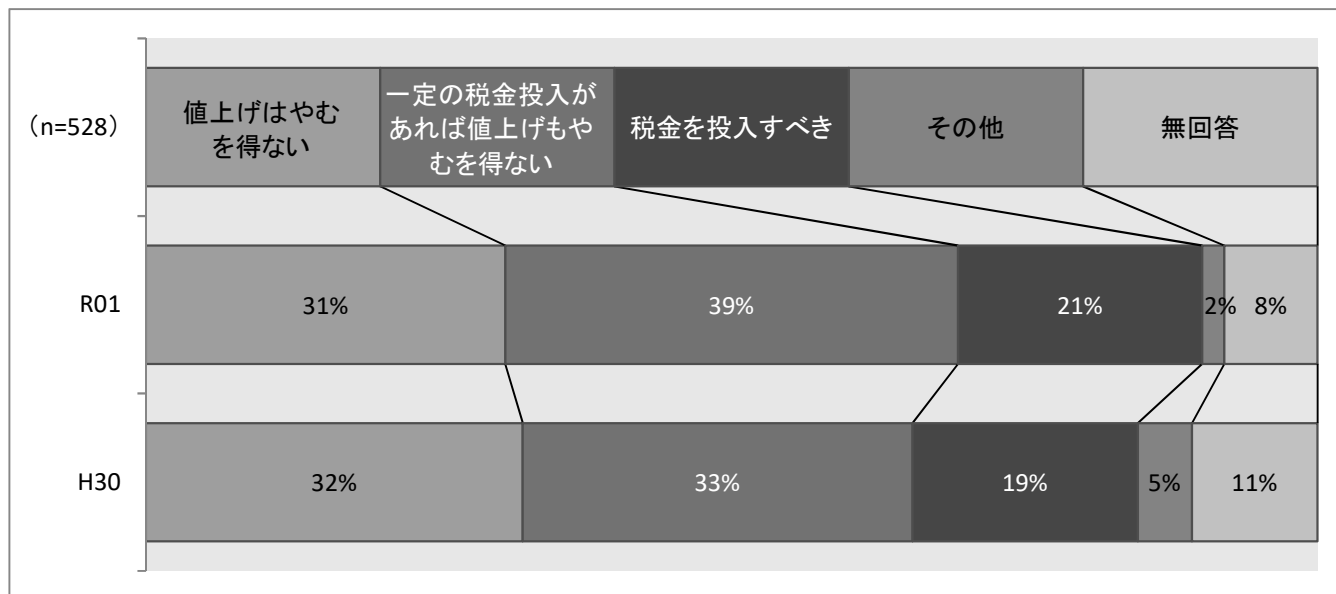
Q17 前記 Q16 の質問で「1. 口座振替」以外を選んだ方へ伺います。口座振替を行わない理由を選んでください。(複数回答)



◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・自分で支払いたい。
- ・都合の良い時に支払う。
- ・単身赴任のため。

Q18 水道事業は、企業会計として水道料金で運営されています。今後の当市の人口の減少が予想される中、経費節減に取り組んだとしても、現在の水道料金では未普及地域の整備、老朽化していく設備（配水管、浄水場や貯水池など）の更新をすることが困難になると見込んでおります。今後、設備更新をしていくための水道料金の値上げについてどう思いますか？



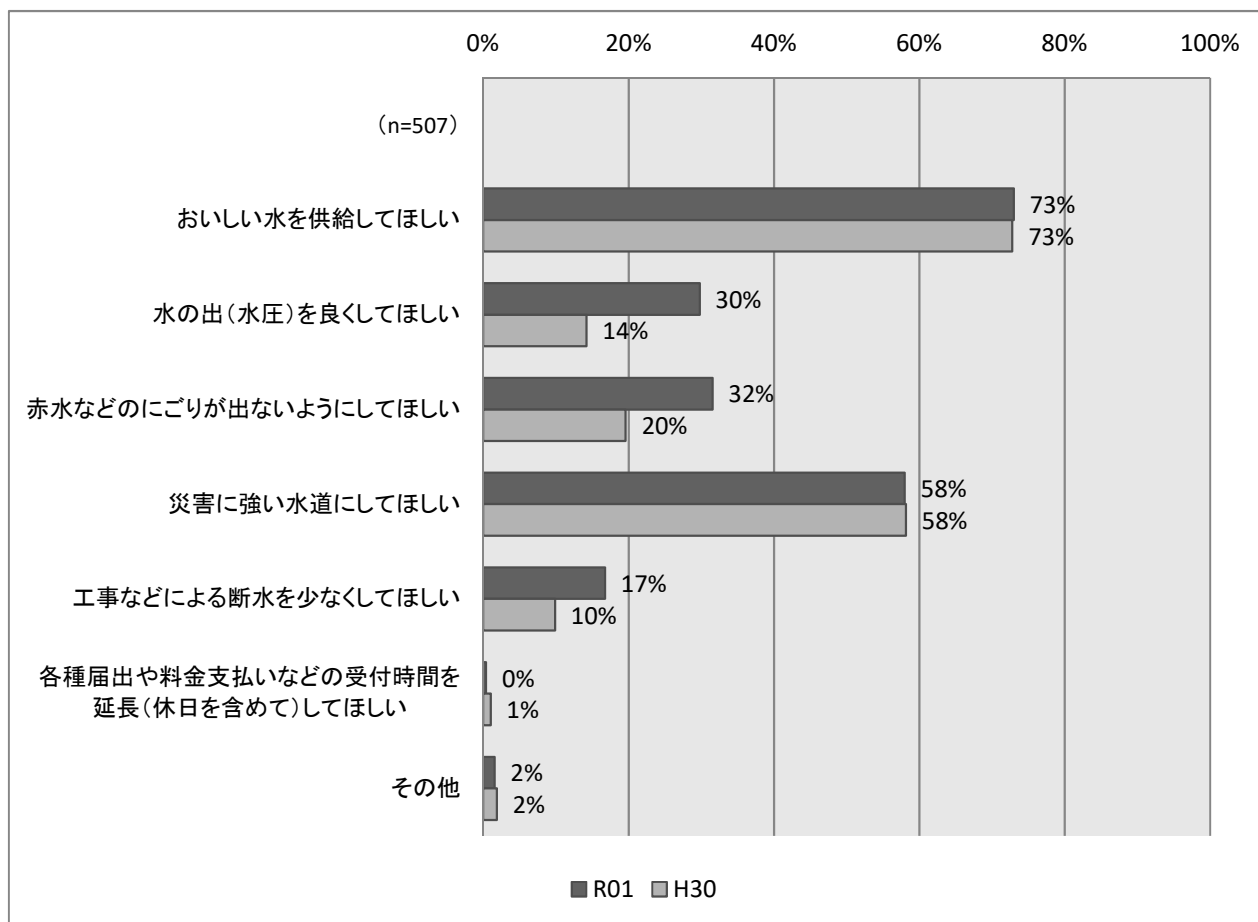
平成 30 年度と比較すると概ね同じ回答率ですが、「一定の税金投入があれば値上げもやむを得ない」については 6%増加しており、社会資本として広く負担を求める回答が増加した結果となりました。

◆「その他」の主なものは次のとおり。

- ・「値上げ反対」とする記述が 4 件
- ・未普及地域へ整備せず、人口集約する等し、効率化を図るべき。
- ・民営化。

## 5. 水道事業について

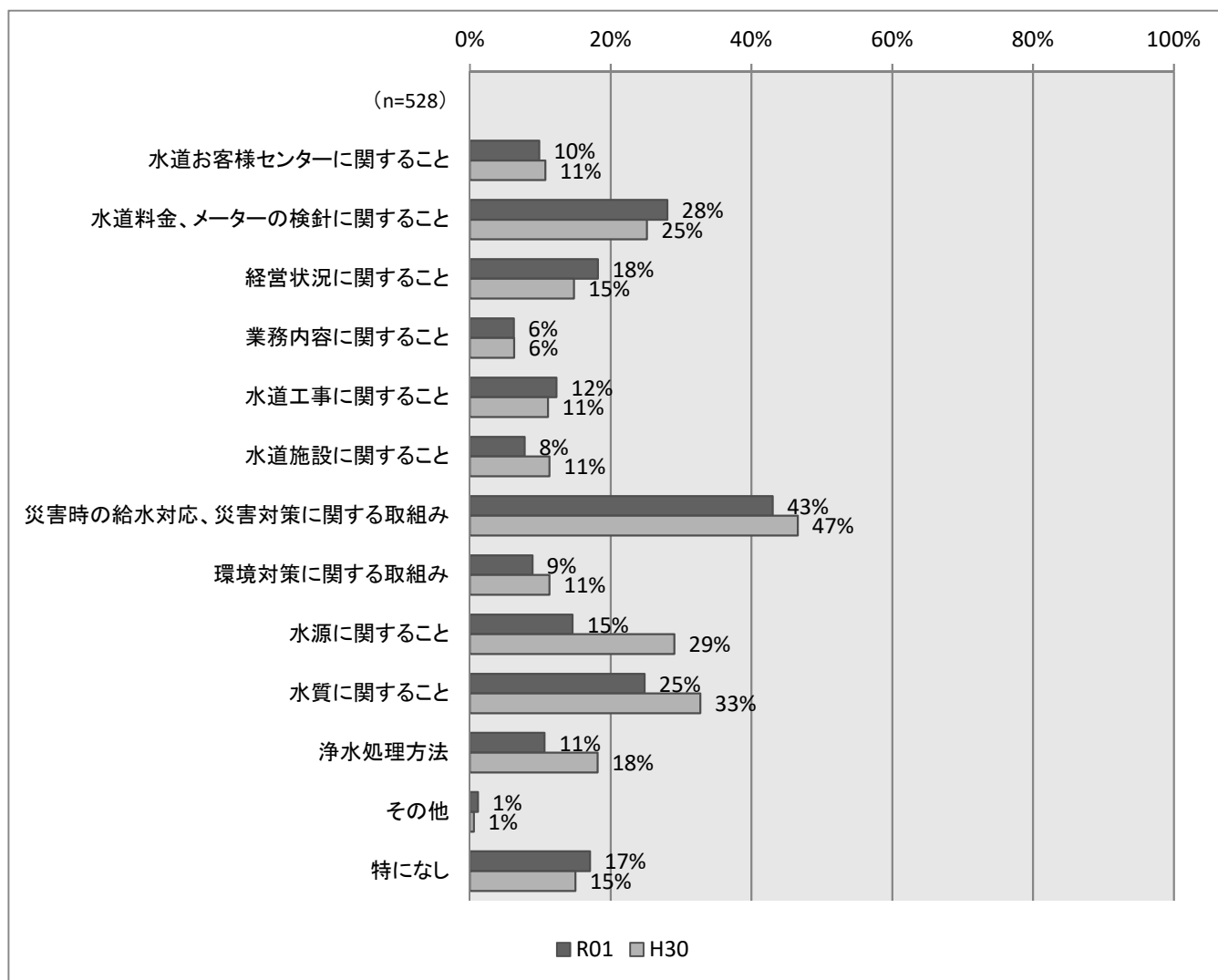
Q19 水道事業では、これからも皆様に安心して水道を使っていただけるように努めてまいります。今後さらに水道事業に期待することを次の中から選んでください。(複数回答)



「おいしい水を供給してほしい」(73%)、「地震や災害に強い水道にしてほしい」(58%)が高い割合となっています。

- ◆ 「その他」の主なものは次のとおり。
  - ・安全・安心であることとする記述が3件
  - ・安全で安価な水。
  - ・料金見直、高すぎる。
  - ・特別な事をしなくていいから、現状をしっかり維持する。

Q20 年2回発行の『水道だより』のなかで、水道事業について、もっとよく知りたいと思うことを次の項目の中から選んでください。(複数回答)



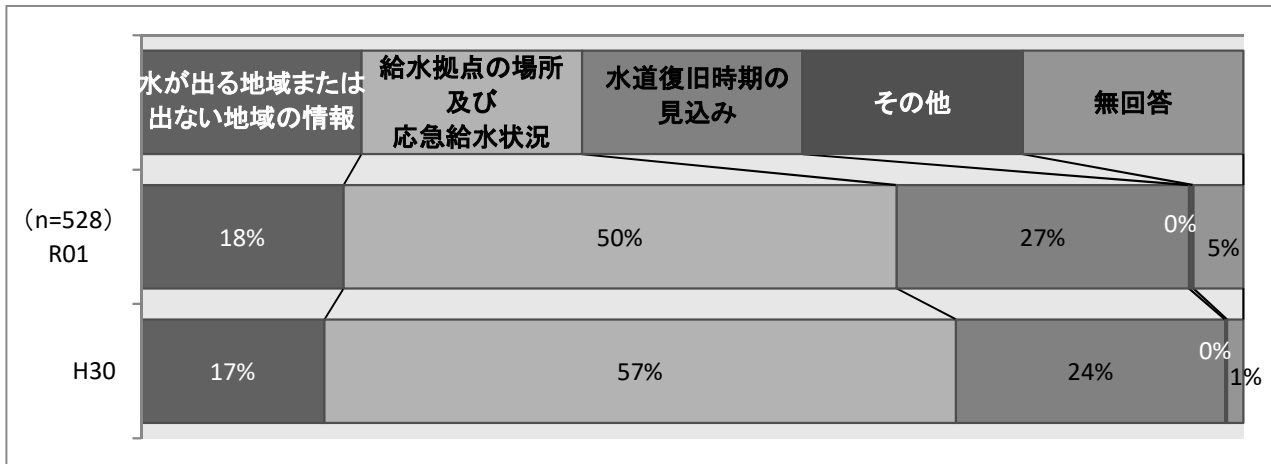
「災害時の給水対応、災害対策に関する取組」(43%)、「水道料金、メーターの検針に関すること」(28%)、「水質に関すること」(25%)の順で関心が高くなっています。

◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

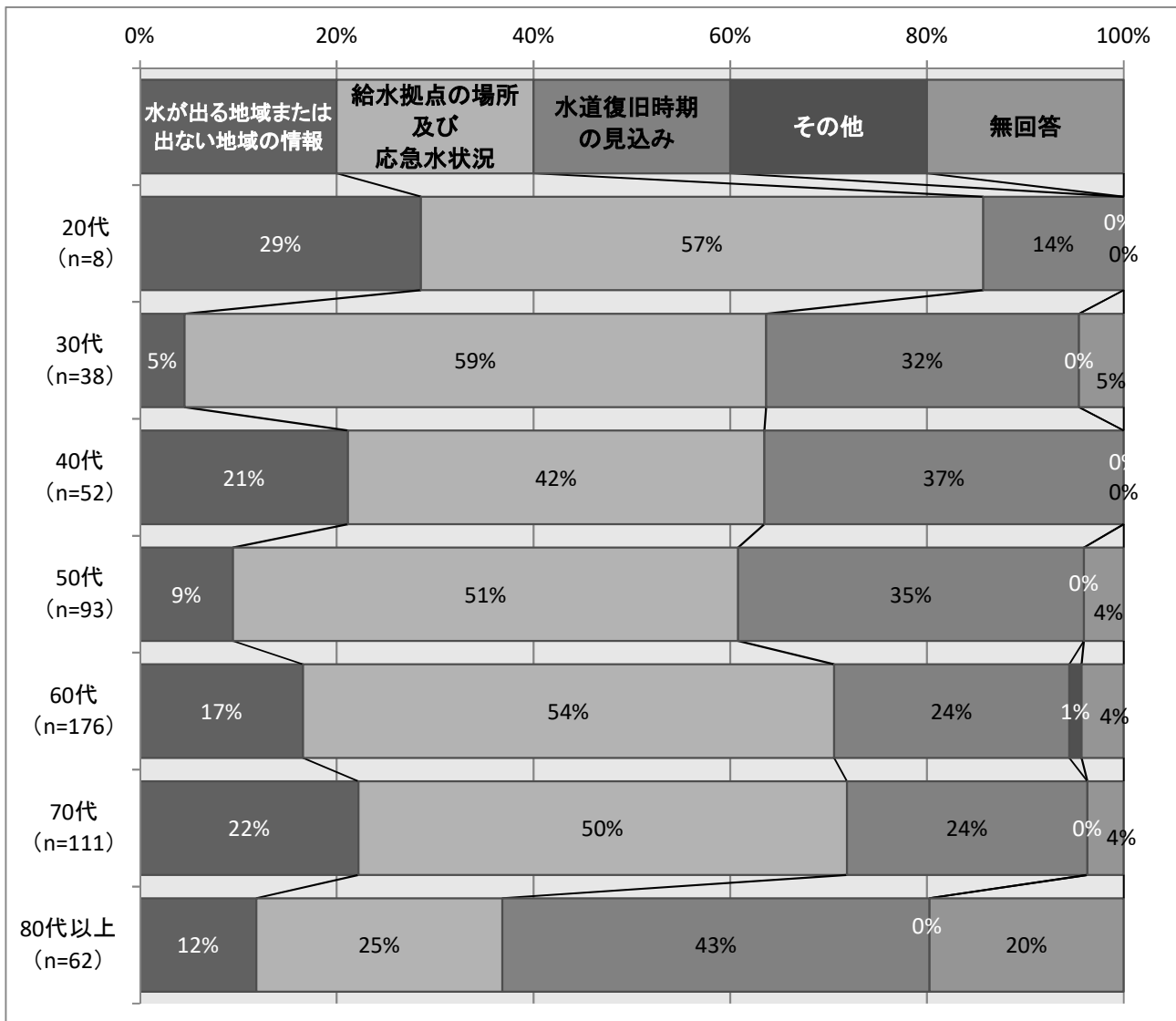
- ・断水の早目のお知らせ。
- ・年1回でいい。必要に応じて発行すればいい。
- ・特別な事がないかぎり広報は不要。
- ・経費を節約していく必要がある。

## 6. 災害対策について

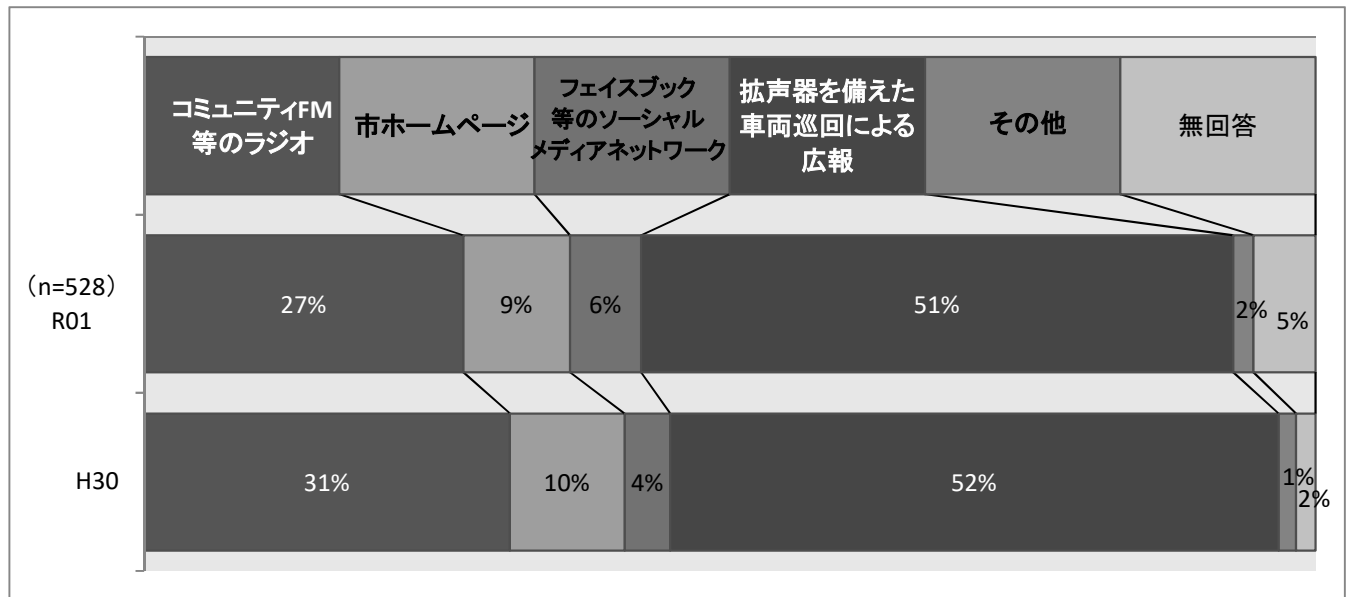
Q21 東日本大震災、熊本地震でも見られたとおり、大規模災害発生時には一時的な断水が生じる可能性が非常に高いと予想しております。このような場合、一番早く知りたい情報は何か？



◇年代別にみると次のようになっています。



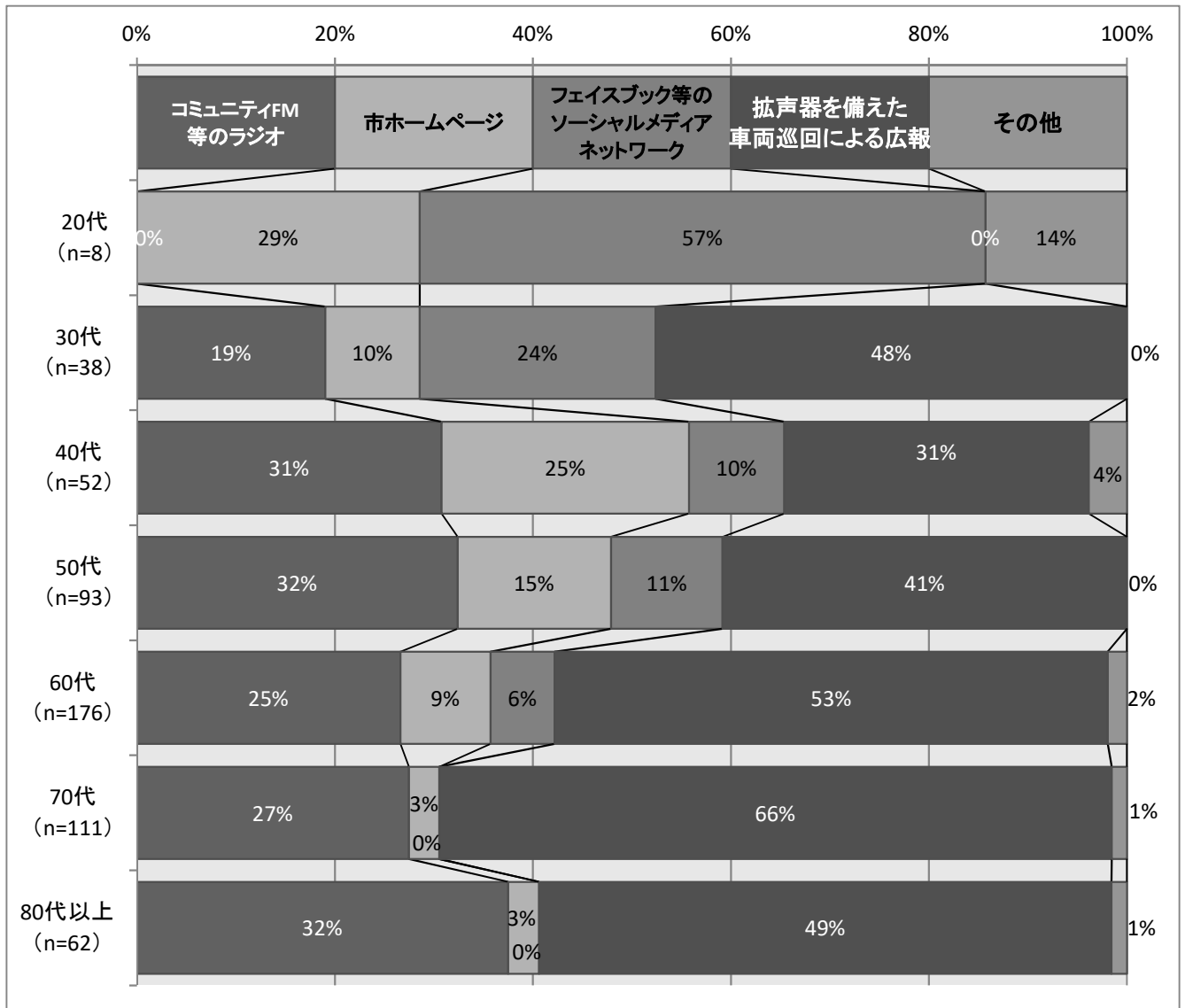
Q22 大規模災害発生時に Q21 の質問でお答えいただいた情報を得るには、どのような情報媒体をお使いになりますか？もっとも初期に利用すると思われるものを1つお選び下さい。



◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・ AM ラジオ
- ・ 各地域局の有線で流してもらえたらよいのでは？
- ・ エリアメールの情報。以前も水害発生時には来ていた。

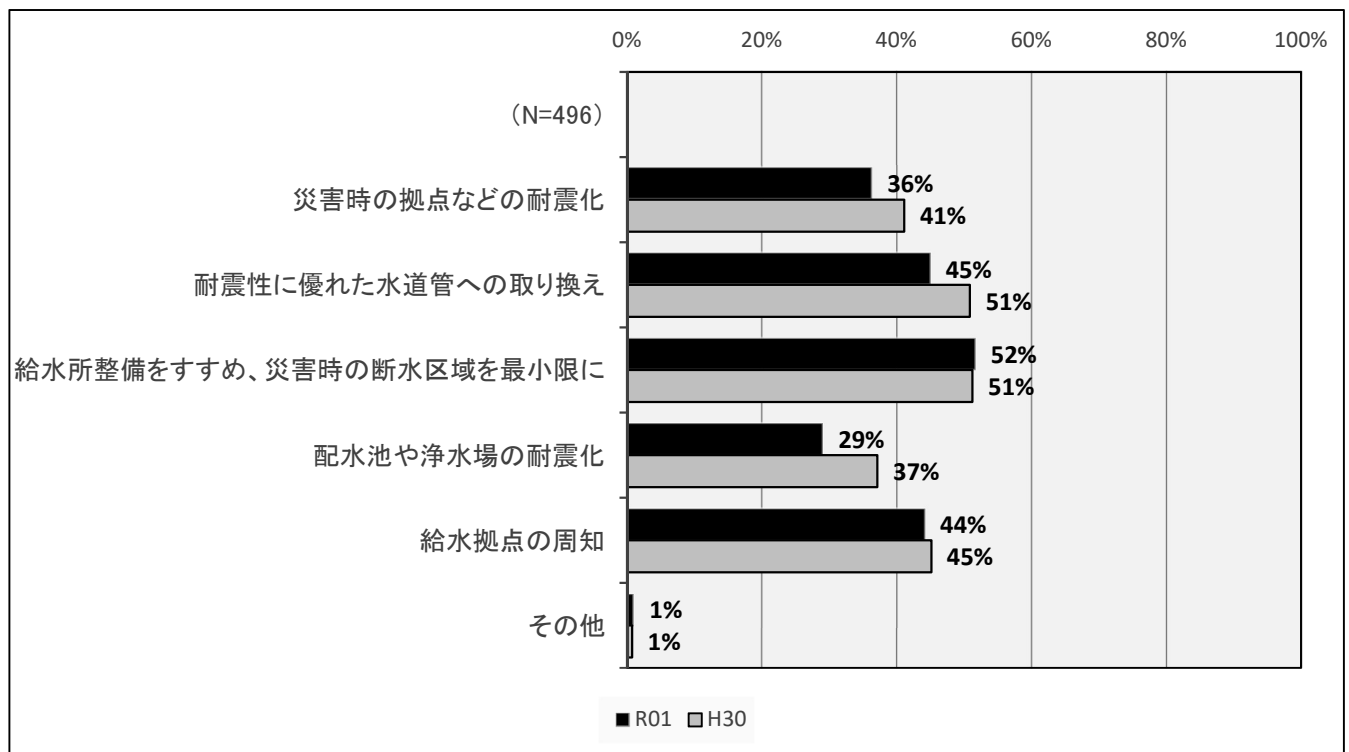
◇年代別にみると次のようになっている。



年代により、ご利用の情報媒体に大きな差があることが分かります。このため発災初期の広報では、複数の手段を用いる必要があるようです。また、年代によっては初期に利用するとして回答が皆無の情報媒体もありました。



Q23 あなたが今後、水道事業で重点的に力を入れてほしい災害対策は何ですか。次の中からいくつかもお選びください。(複数回答)



◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。

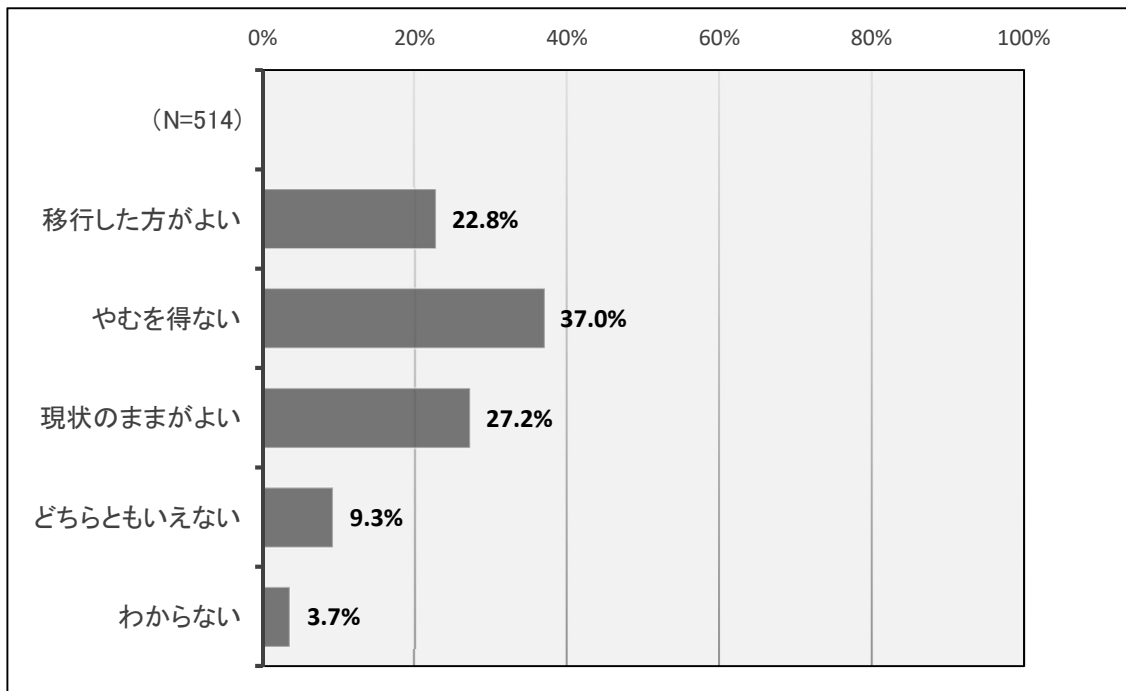
- ・ 停電による断水・給水対策

## 7. 検針について

市では水道料金の減収に対応するため内部的な経費節減のほかに、現在行われている「毎月検針」を「隔月検針」へ変更する検討を行っています。年間約 1,000 万円の検針の経費節減ができることにより、料金改定の時期を遅らせる、または改定率を軽減できます。

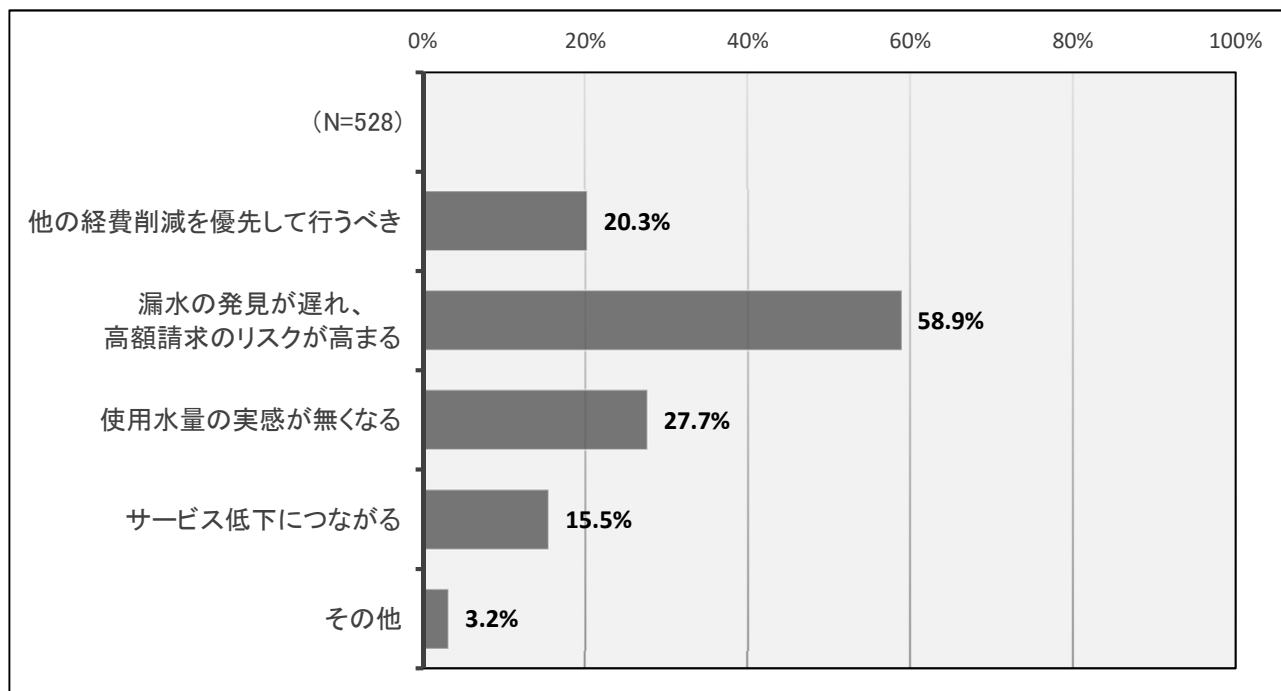
問題点としては、漏水発見の遅れによる浄水コストが増える、滞納者増加のおそれなどがあげられます。

Q24 毎月検針から2か月に1回の隔月検針に移行することについて、どのように思いますか。



「やむを得ない」と回答された方の割合が 37%と一番多く、「移行した方がよい」と合わせると、移行することを可とする回答率は 59.8%になり過半数を超えます。一方で、「現状のままがよい」の回答率は 27.2%でした。

Q25 隔月検針に移行するにあたり、問題だと思うことはどのようなことでしょうか。(複数回答)

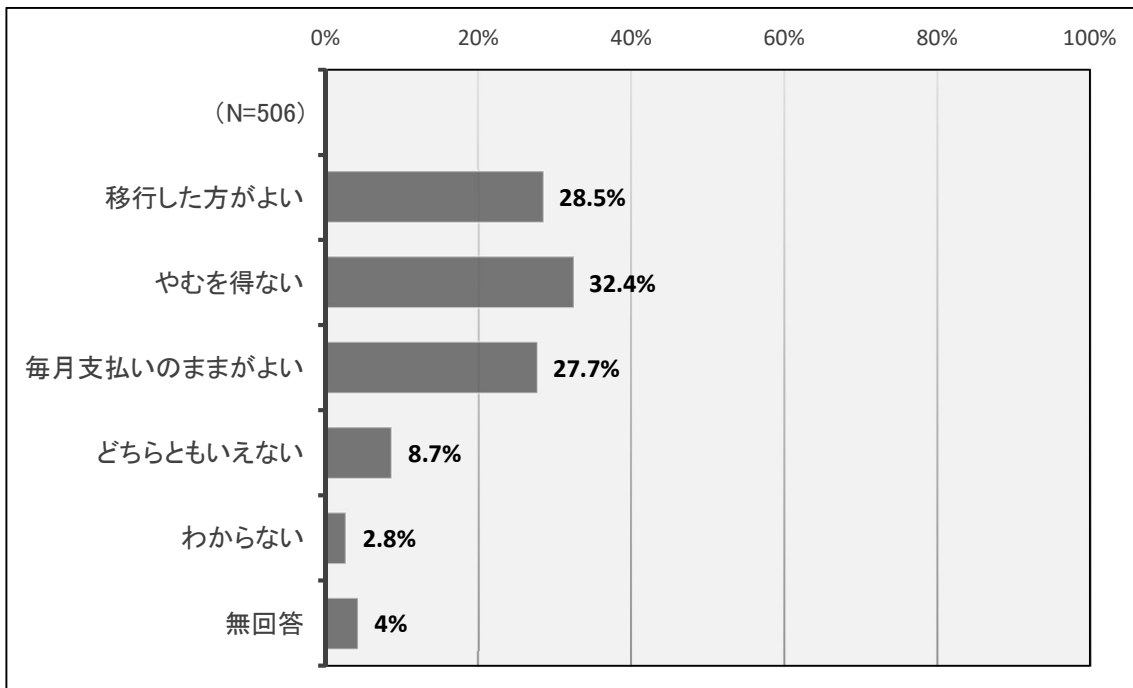


「漏水の発見が遅れ、高額請求のリスクが高まる」と回答された方の割合が58.9%となり、漏水時の料金について懸念されていることが分かります。

Q26 (25)で「2.」を選択した方へおうかがいします。どうすれば不安を解消できると思いますか。(自由記載)

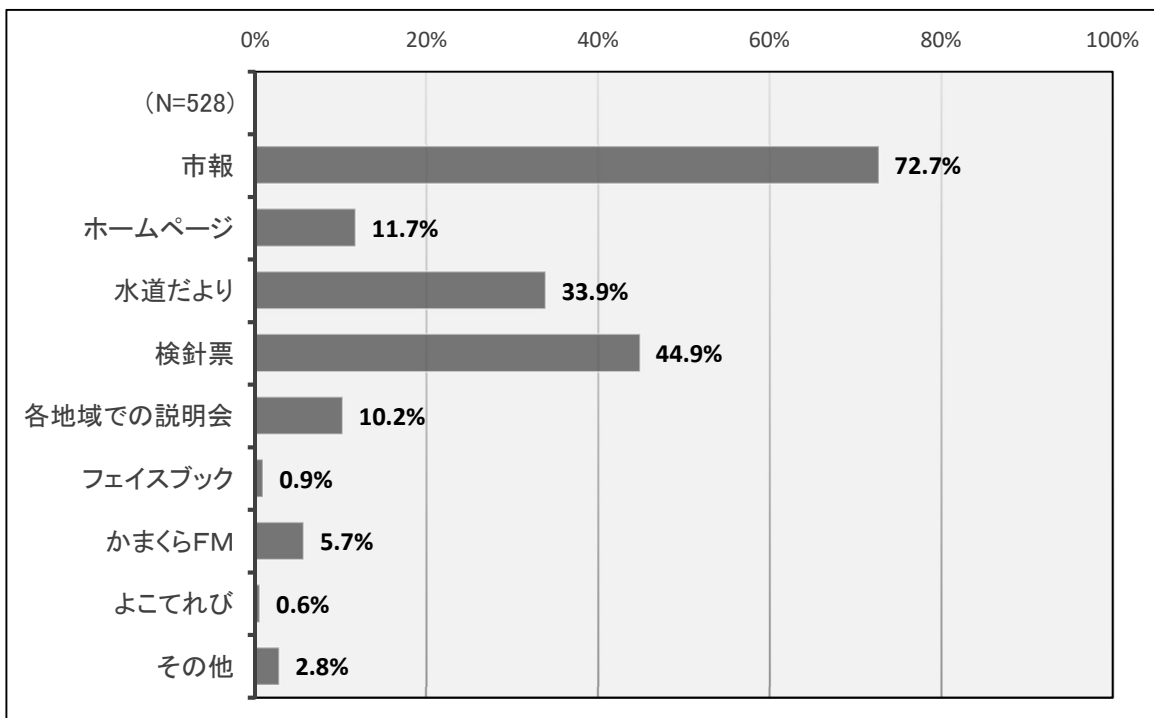
- ◆197件の記載がありました。まとめると次の9つに分類されます。
- ・減免等があればいいなどの記述 42件
  - ・点検する(主に自分で)などの記述 38件
  - ・点検をしてほしいなどの記述 18件
  - ・漏水発見の仕組みや漏水を防止するなどの記述 22件
  - ・漏水に関する事について周知・指導してほしいなどの記述 9件
  - ・漏水の際の迅速な対応などの記述 6件
  - ・現状のままで良いなどの記述 19件
  - ・分からないなどの記述 18件
  - ・その他 25件

Q27 毎月の支払から隔月検針にあわせた2か月分をまとめた支払いに変更すると、さらに年間約500万円の経費節減になりますが、どのように思いますか。



「移行した方がよい」28.5%と「やむを得ない」32.4%を合わせて60.9%の割合で、経費節減になるのであれば隔月検針にあわせた2か月分をまとめた支払いを可とする回答になりました。一方で「毎月支払いのままがよい」は27.7%でした。

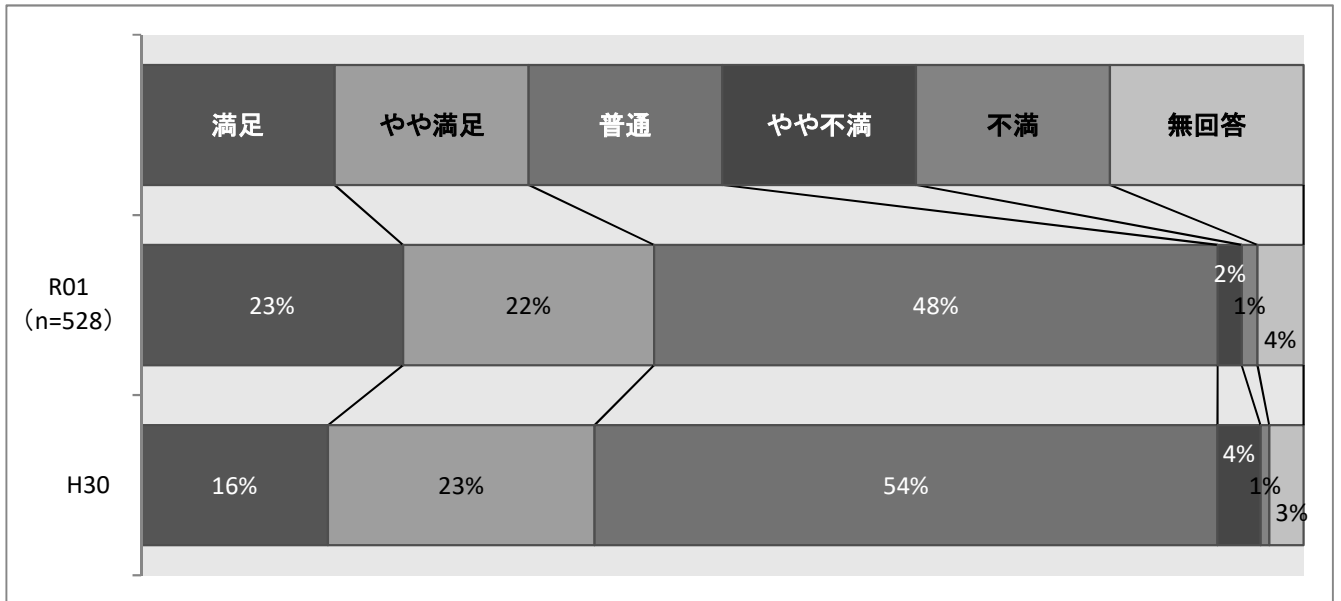
Q28 仮に隔月検針に移行することになった場合、どのような方法で周知するのが有効だと思いますか。(複数回答)



「市報」と回答された方の割合が72.7%と一番多く、次いで「検針票」の44.9、「水道だより」の33.9%の順で多くなりました。

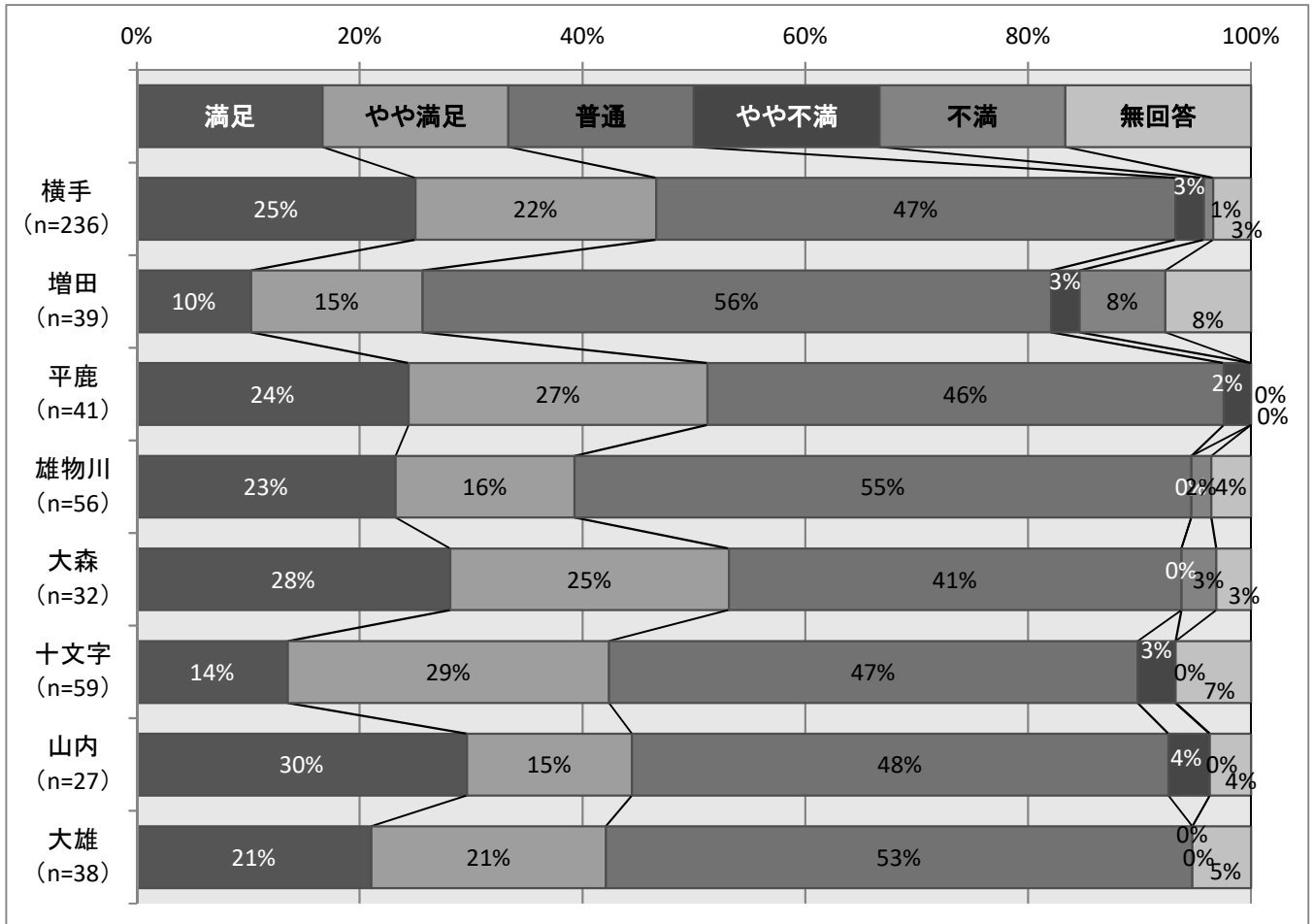
## 8. 水道事業全体について

Q29 水道事業全体について、どの程度満足していますか？

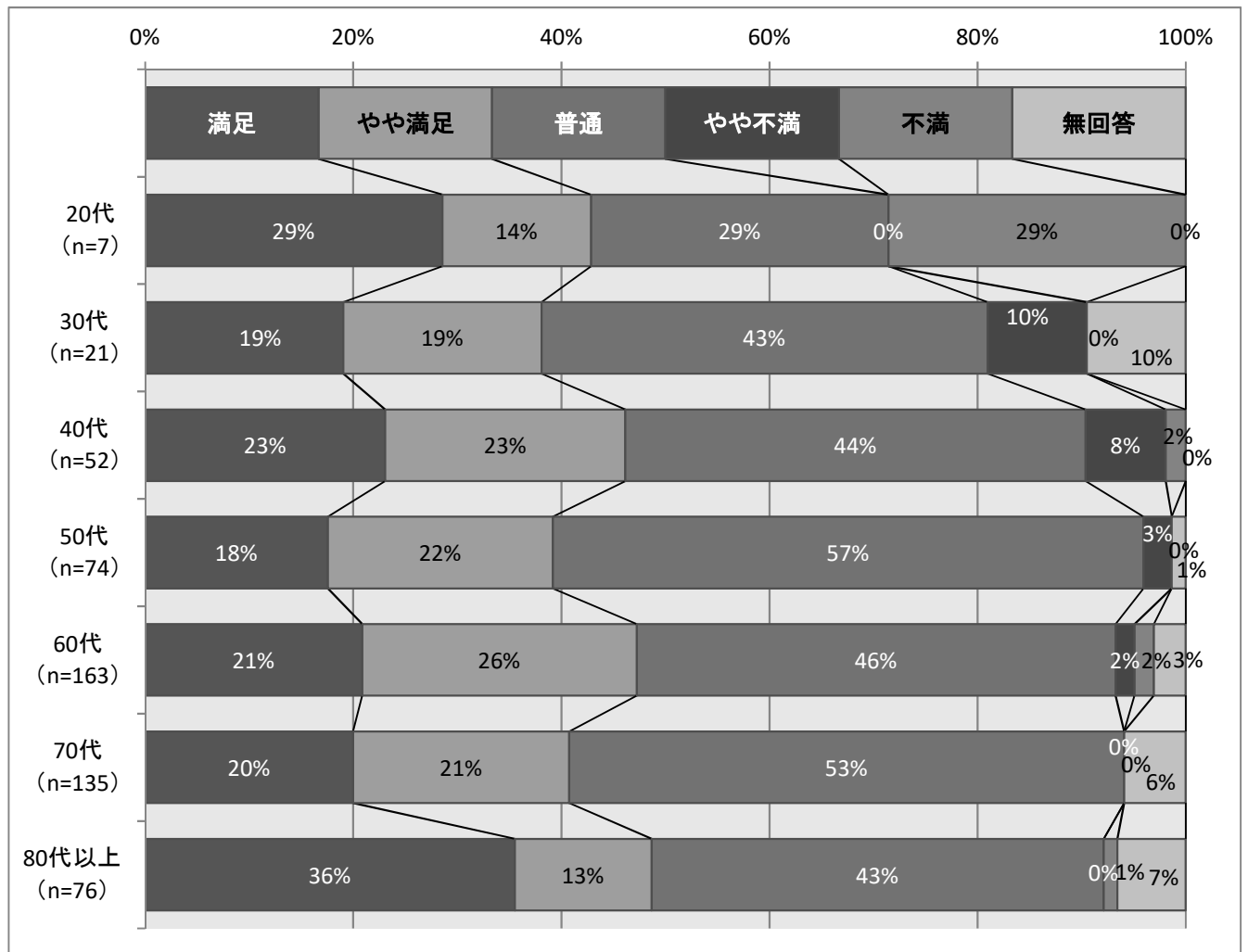


「満足」「やや満足」の割合が合わせて 45%となっており、「やや不満」「不満」の合計 3%を大きく上回っています。

◇地域別にみると次のようになっています。



◇年代別にみると次のようになっています。



## 參考資料

---

令和元年6月28日

横手市の水道をご利用のお客様へ

横手市長 高橋 大  
(公 印 省 略)

横手市水道事業に関するアンケートについて（お願い）

日頃より、横手市の水道事業に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

横手市上下水道部では、水道を利用されている皆様からの評価や要望をお聞かせいただき、今後の水道事業の運営やサービス向上につなげるため、定期的にアンケートを行っております。

つきましては、ご多用の折、誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートは横手市の水道を利用されているお客様の中から無作為に選んだ方々（1000名）にお届けしております。ご回答は、アンケート用紙に直接記入の上、同封の返信用封筒に入れ7月11日（木）まで郵便ポストに投かんをお願いいたします。

- ・アンケートの記入にあたっては、ご家族の方であればどなたが回答くださっても構いません。
- ・このアンケートの宛先は令和元年5月30日時点で届出いただいている水道の使用者名義人に宛ててお送りしております。使用者名義人に変更がある場合は届出をお願いいたします。横手市水道お客様センター（TEL32-2758）までご連絡ください。

【アンケートに関する問い合わせ】  
横手市上下水道部経営管理課  
TEL35-2251 FAX33-3429  
メール [keieikanri@city.yokote.lg.jp](mailto:keieikanri@city.yokote.lg.jp)



# 横手市水道事業アンケート

※ 番号を右側の回答欄に記入してください。

1. はじめに、お客様のことについておたずねします。

(1) あなたの性別を選んでください。

1. 男性    2. 女性

(1)

(2) あなたの年代を選んでください。

1. 10代    2. 20代    3. 30代    4. 40代  
5. 50代    6. 60代    7. 70代    8. 80代以上

(2)

(3) あなたのお住まいの形態を1つだけ選んでください。

1. 一戸建て    2. アパートやマンションなどの集合住宅  
3. その他（一戸建ての公営住宅など）

(3)

(4) お住まいになって何年ですか。1つだけ選んでください。

1. 1年未満    2. 1～5年    3. 6～10年  
4. 11～20年    5. 21年以上

(4)

(5) 一緒に暮らしているご家族は、あなたを含み何人ですか。  
数字をお書きください。

(5)

(6) あなたのお住まいの地域を選んでください。

1. 横手    2. 増田    3. 平鹿    4. 雄物川  
5. 大森    6. 十文字    7. 山内    8. 大雄

(6)

2. 水のご使用について、おたずねします。

(7) 水道水の水質（安全性）について、どのようにお感じになりますか。  
1つだけ選んでください。

- 1. 安心である
- 2. どちらかといえば安心である
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば不安である
- 5. 不安である

【ご案内】 横手市のホームページでは、水質検査結果を公表しています。

ページ番号は000006547

(7)

(8) (7)の質問で、「4. どちらかといえば不安である」「5. 不安である」を選んだ方におたずねします。不安と感じる理由は何ですか。いくつでも選んでください。

- 1. 水源の汚れ
- 2. 水道管の汚れや老朽化
- 3. 消毒のための塩素の使用
- 4. はっきりとした理由はないが漠然とした不安
- 5. その他 ( )

(8)

(9) 普段飲む水は、どうされていますか。最も多い飲み方を1つだけ選んでください。

- 1. 水道水をそのまま飲む
- 2. 水道水を冷やしてから飲む
- 3. 水道水を一度沸騰させてから飲む
- 4. 浄水器を通した水を飲む
- 5. 市販のミネラルウォーターなどを飲む
- 6. その他 ( )

(9)

(10) (9)の質問で、「5. 市販のミネラルウォーターなどを飲む」を選んだ方へおたずねします。あなたが水道水を飲まない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1. 味
- 2. におい
- 3. 色
- 4. にごり
- 5. 安全性
- 6. 水温
- 7. なんとなくおいしくないイメージ
- 8. なんとなく不安なイメージ
- 9. その他 ( )

(10)





4. 水道料金について、おたずねします。

(14) 現在の水道料金についてどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

1. 高い 2. やや高い 3. 妥当である 4. やや安い 5. 安い

【参考】標準的な1か月分の水道料金（4人家族で24㎡使用した場合・税込み）  
○口径13mmの場合 4,622円 ○口径20mmの場合 4,978円

(14)

(15) あなたはどのような理由で（14）の回答をされましたか。次の中からいくつでもお選びください。

1. 他市町村の水道料金と比較して  
2. 電気料金やガス料金と比較して  
3. 家計に占める水道料金の割合から  
4. 他の人の話を聞いて 5. 市販のミネラルウォーター等と比較して  
6. 何となく 7. その他（ ）

(15)

(16) 現在、水道料金はどのような方法でお支払いいただいていますか。1つだけ選んでください。

【参考】平成31年3月末時点で口座振替で料金をお支払いいただいている割合 81.2%

1. 口座振替 2. 銀行、農協など金融機関で納付  
3. 地域局で納付 4. お客様センターで納付  
5. コンビニで納付

(16)

(17) (16)の質問で「1.口座振替」以外を選んだ方へおたずねします。口座振替をお選びいただいていない理由を次からいくつでも選んでください。

1. 口座振替の手続きの仕方がわからない  
2. 金融機関へ口座振替の手続きに行くことが出来ない  
3. 金融機関へ口座振替の手続きに行くことが面倒である  
4. 毎月通帳に入金するのが面倒である  
5. 金融機関に口座がない  
6. その他（ ）

(17)





6. 災害対策について、おたずねします。

(21) 東日本大震災、熊本地震などの被災地直後に見られたとおり、大規模災害発生時には一時的な断水が生じる可能性が非常に高いと予想しております。このような場合、一番早く知りたい情報は何ですか。1つ選んでください。

1. 水が出る地域または出ない地域の情報
2. 給水拠点の場所及び応急給水状況
3. 水道復旧時期の見込み
4. その他 ( )

(21)

(22) 大規模災害発生時に(21)の質問でお答えいただいた情報を得るには、どのような情報媒体をお使いになりますか。もっとも初期に利用すると思われるものを1つお選びください。

1. コミュニティFM等のラジオ
2. 市ホームページ
3. フェイスブック等のソーシャルメディアネットワーク
4. 拡声器を備えた車両巡回による広報
5. その他 ( )

(22)

(23) あなたが今後、水道事業で重点的に力を入れてほしい災害対策は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。

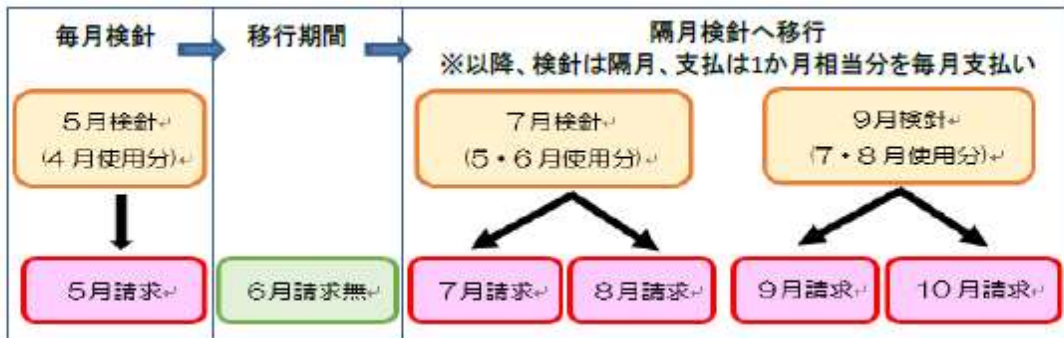
1. 災害時に応急・復旧活動の指揮命令機能を担う中枢機関や、医療救護活動の拠点となる病院への供給ルートの耐震化実施
2. 耐震性能に優れた水道管への取り換えを促進すること
3. 給水所の整備をすすめ、災害時に水が使えない区域を最小限にすること
4. 配水池や浄水場など水道施設の耐震化を実施すること
5. 災害時に応急給水を行う給水拠点の名称・場所の周知
6. その他 ( )

(23)

7. 検針について、おたずねします。

市では水道料金の減収に対応するため内部的な経費節減のほかに、現在行われている「毎月検針」を「隔月検針」へ変更する検討を行っています。年間約1,000万円の検針の経費節減ができることにより、料金改定の時期を遅らせる、または改定率を軽減できます。問題点としては、漏水発見の遅れによる浄水コストが増える、滞納者増加のおそれなどがあげられます。

移行の際のイメージ



(24) 毎月検針から2か月に1回の隔月検針に移行することについて、どのように思いますか。

- 1. 移行した方がよい
- 2. やむを得ない
- 3. 現状のままがよい
- 4. どちらともいえない
- 5. わからない

(24)
------

(25) 隔月検針に移行するにあたり、問題だと思ふことはどのようなことでしょうか。次の中からいくつでもお選びください。

- 1. 他の経費節減を優先して行った方がよい
- 2. 漏水の発見が遅れ、その分の高額な料金請求されるリスクが高まる
- 3. 2か月前の使用量を忘れてしまうので、検針票の使用水量の実感が無くなる
- 4. これまで毎月であったものが隔月になることは、サービスの低下につながる
- 5. その他 ( )

(25)
------

(26) (25)で「2.」を選択した方へおうかがいします。どうすれば不安を解消できると思いますか。

( )

(27) 毎月の支払から隔月検針にあわせた2か月分をまとめた支払いに変更すると、さらに年間約500万円の経費節減になりますが、どのように思いますか。

1. 移行した方がよい                      2. やむを得ない  
3. 毎月支払いのままがよい          4. どちらとも言えない  
5. わからない

(27)

--

(28) 仮に隔月検針に移行することになった場合、どのような方法で周知するのが有効だと思いますか。(複数回答可)

1. 市報                      2. ホームページ                      3. 水道だより  
4. 検針票                      5. 各地域での説明会                      6. フェイスブック  
7. かまくらFM                      8. よこてれび  
9. その他(                      )

(28)

--

8. 水道事業全体について、おたずねします。

(29) 水道事業全体について、どの程度満足していますか。1つだけ選んでください。

1. 満足                      2. やや満足                      3. 普通  
4. やや不満                      5. 不満

(29)

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

これからも水道事業に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、水道事業に対するご意見などがありましたら、ご意見欄にお書きください。

ご意見欄

--

7月11日(木)までに投函をお願いします。



# 横手市水道事業アンケート

## 報告書

令和元年9月

編集・発行 横手市上下水道部経営管理課  
〒013-0022 秋田県横手市四日町3番23号  
Tel 0182-35-2251  
Fax 0182-33-3429